
市民意識調査結果報告書

令和4年3月
稲敷市

目次

1. 調査結果概要	1
<hr/>	
2. 調査結果報告書	17
<hr/>	
1 稲敷市の住みごちについて	22
問1 住みやすさ	22
問2 定住意向	24
問3 新型コロナウイルス感染症に対する市の対策で重要なこと	26
問4 SDGsについての認識	28
2 稲敷市の取組について	30
問5 市の取組についての満足度	30
問6 取組についての今後5年間の重要度	31
3 回答者属性	36
問7 性別	36
問8 年齢	36
問9 職業	36
問10 居住地区	37
問11 居住年数	37
問12 自由回答	38
3. 市民意向調査票	43
<hr/>	

1. 調查結果概要

1. 調査概要

(1)目的

第2次稲敷市総合計画後期基本計画(令和6年度から令和9年度)を策定するにあたり、市民意向を把握し、計画に反映する上での基礎資料とするために実施した。

(2)調査方法

【配布方法】

- ・郵送による配布・回収
- ・WEBサイトでの回収

【回答者数】

標本数(抽出段階): 3,000票

標本数(回収段階): 2,989票

回収数: 1,277票(紙回収 906票、WEB回収 371票)

回収率: 42.7%

有効回答票: 1,276票

有効回答率: 42.7%

(3)アンケート項目

1. 市の住み心地などについて		
問1	住みやすさ	4
問2	定住意向	5
問3	感染症対策において最も重要だと思う市の対策	6
問4	SDGsの認知度	7
2. 市の取組について		
問5	現在の満足度について	8
問6	今後5年間の重要度について	9
3. 回答者について		
問7	性別	11
問8	年齢	11
問9	職業	11
問10	居住地区	12
問11	居住年数	12
問12	自由意見(市の暮らしについて)	13

(4)アンケート結果概要

POINT 1 p4

住みやすいと感じる人は

38.3%



▶30代、70代以上が特に住みやすいと感じる人が多い。

住みにくいとを感じる人は、

14.7%

POINT 2 p5

市に住み続けたいと
思っている人は

63.3%



▶地区別では、東地区が66.6%と定住意向が最も多い。

住み続けたくないと思っている人は、

11.1%

POINT 3 p6

COVID-19 に対する最も重要な市の対策は

1位「ワクチン接種※」

39.3%



※ワクチン接種や検査の実施体制の確保

2位「正確な知識や適切な情報の迅速な提供」

3位「中小企業や市民への経済支援」

POINT 4 p7

SDGs の認知具合は



36.4%

▶10代~50代は認知度がほぼ均等。

SDGs を知らなかった、
聞いたことがない人は、

22.2%

POINT 5 p8

満足度が高いのは

1位「保険・医療」



34.9%

2位「子育て支援」



32.9%

3位「安心・安全」



30.4%

POINT 6 p8

今後5年間で重要度が高いのは

1位「保険・医療」



38.5%

2位「子育て支援」



38.5%

3位「公共交通」

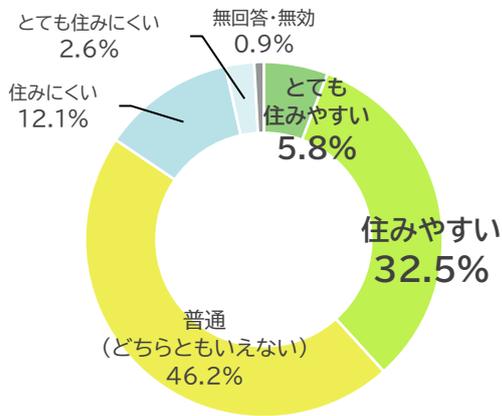


36.4%

1位と2位が重要度・満足度を
共に満たす結果になっている

2. 市の住み心地などについて

問1 市の住みやすさ



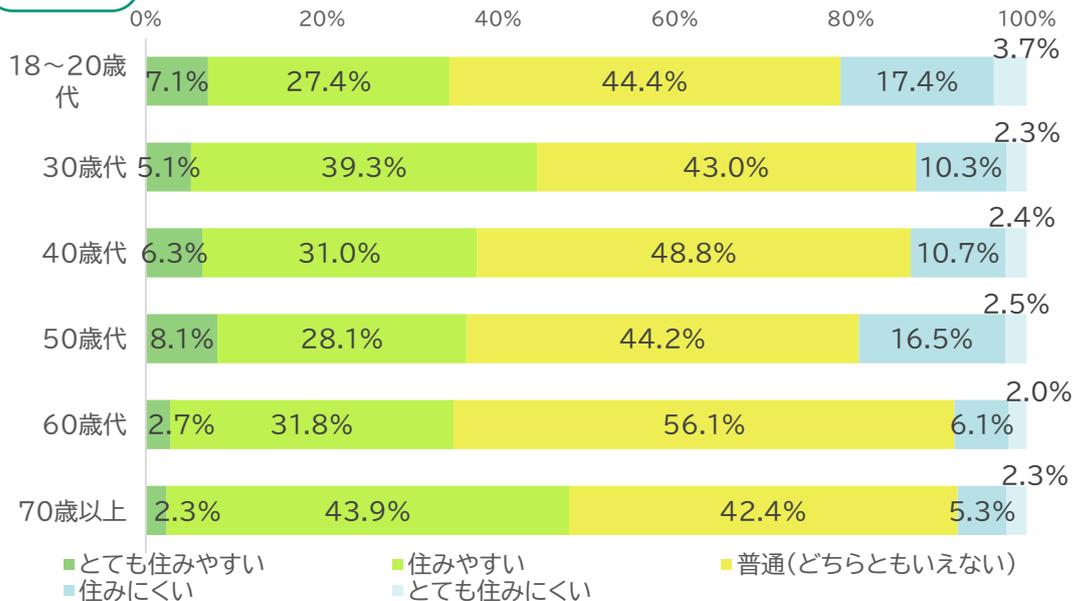
「とても住みやすい」「住みやすい」をあわせて住みやすいと感じる人が **38.3%**

年代別にみると、「住みにくい」「とても住みにくい」が最も多いのは18～20歳代。

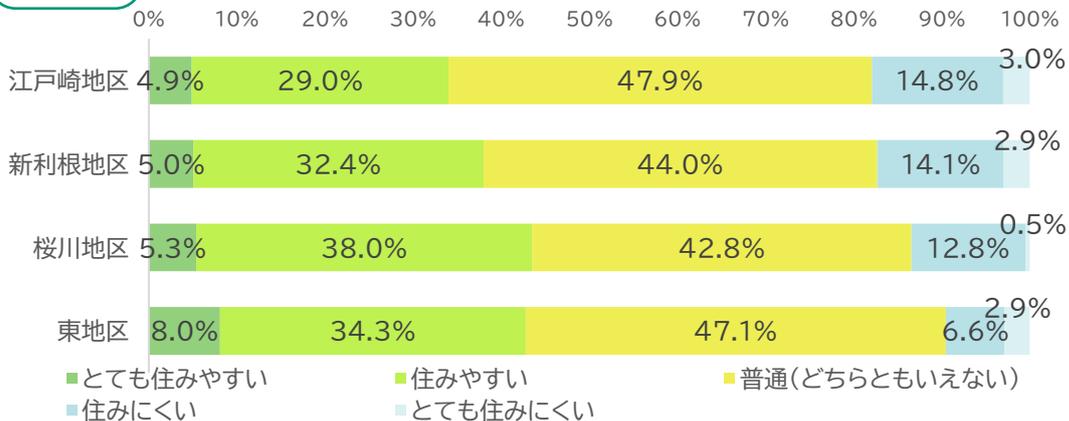
「住みやすい」が最も多いのは70歳以上。

地区別にみると東地区の「住みにくい」の割合が他地区と比較して少ない。

年代別

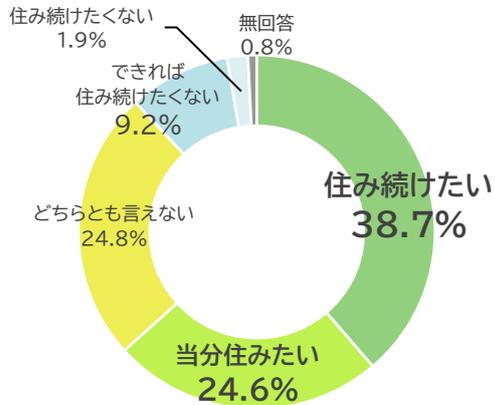


地区別



※無回答・無効は省略

問 2 定住意向

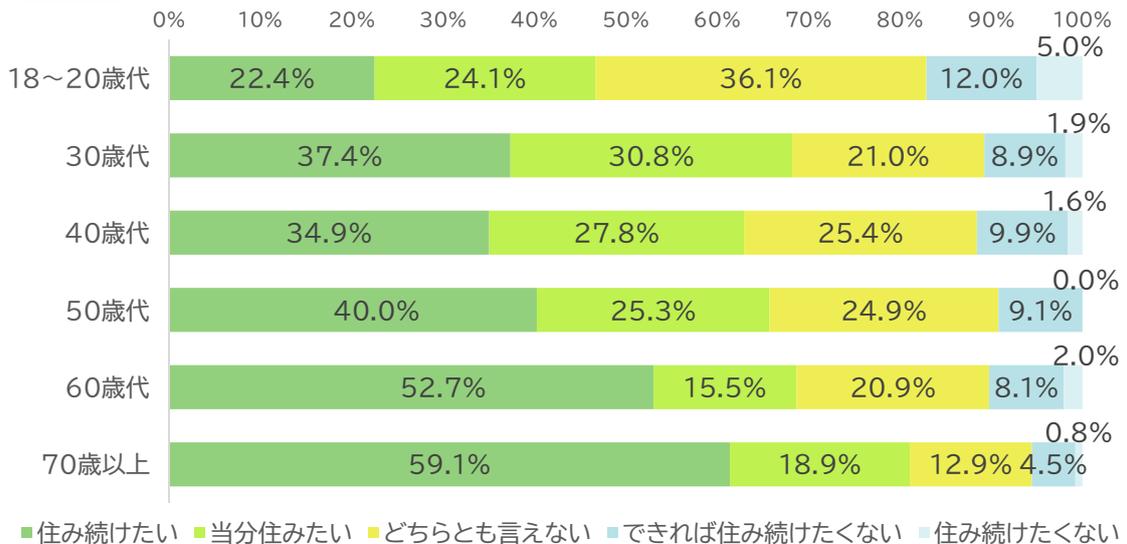


「住み続けたい」「当分住み続けたい」をあわせて、住み続けたいと思っている人は**63.3%**

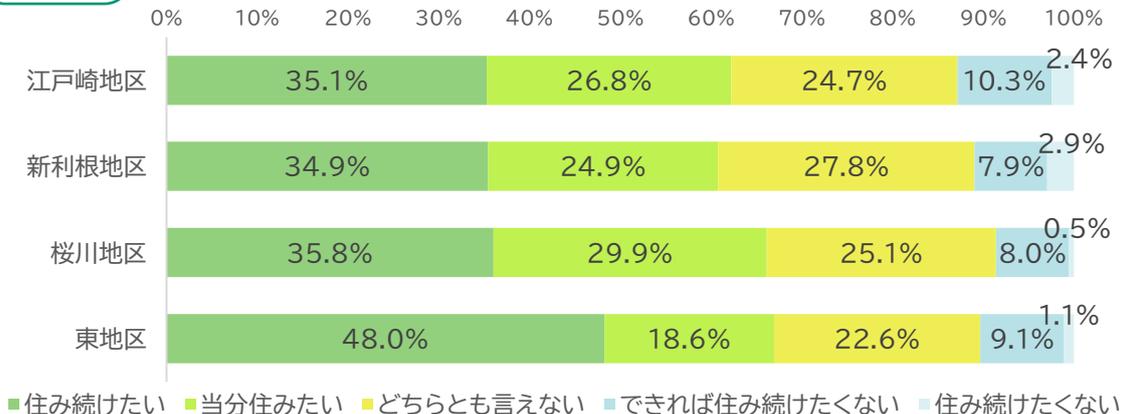
地区別にみると東地区は 50%弱が「住み続けたい」と回答している。

次いで、桜川地区、江戸崎地区、新利根地区の順で住み続けたい割合が多い。

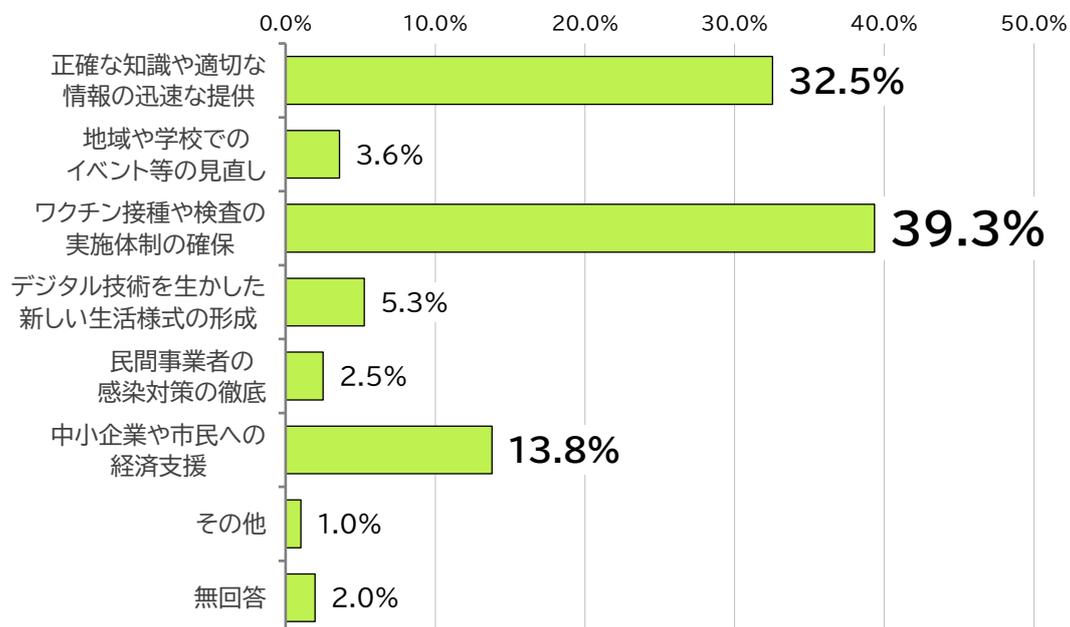
年代別



地区別



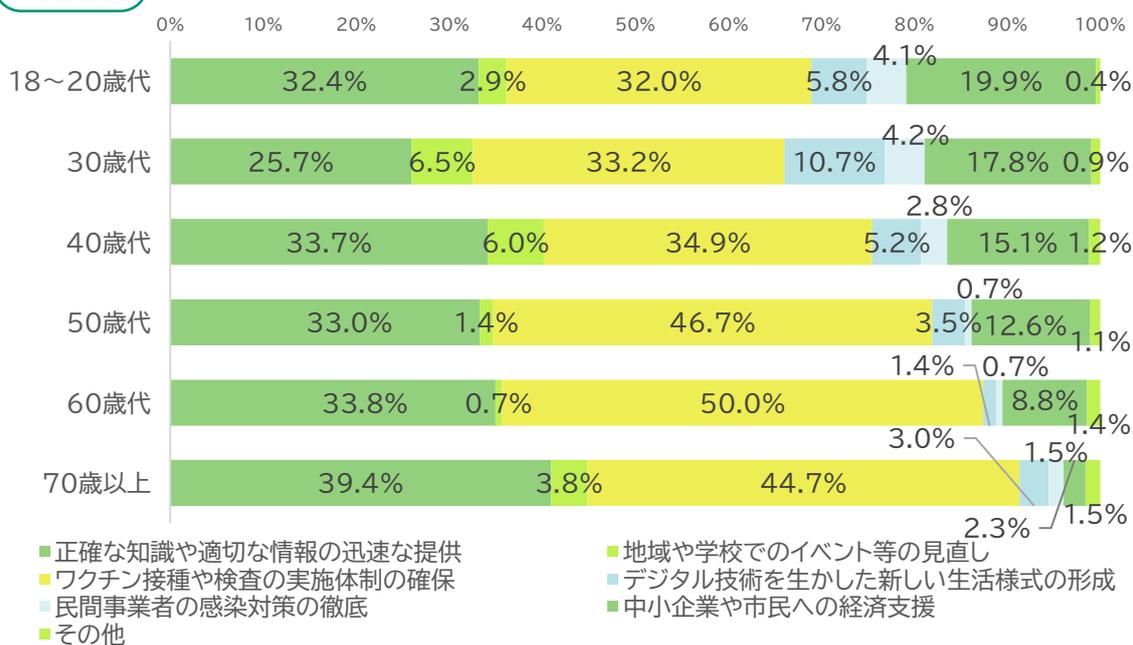
問3 新型コロナ感染症対策において最も重要だと思う市の対策



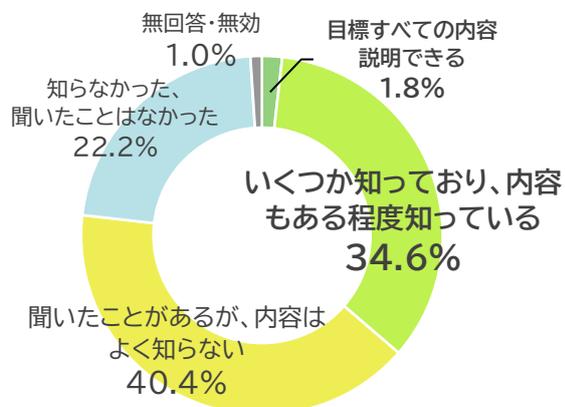
その他のご意見

- ・迅速な医療体制の確立、感染後の対応
- ・感染経路の解析・正確な認識
- ・感染症対策の徹底(マスク・アルコール消毒等)
- ・生活困窮者や学生への経済支援をして欲しい
- ・商業施設・ゴルフ場の感染対策の徹底をして欲しい
- ・ワクチン接種に関する偏見や差別を無くしてもらいたい 等

年代別



問4 SDGsの認知度



▶SDGsは「目標すべての内容を説明できる」と「いくつか知っており、内容もある程度知っている」を足した概ねの内容を知っている人は、

36.4%

▶年齢別にみると50歳代まではほぼ均等に認知されている。60歳以上は、認知度がやや低い。

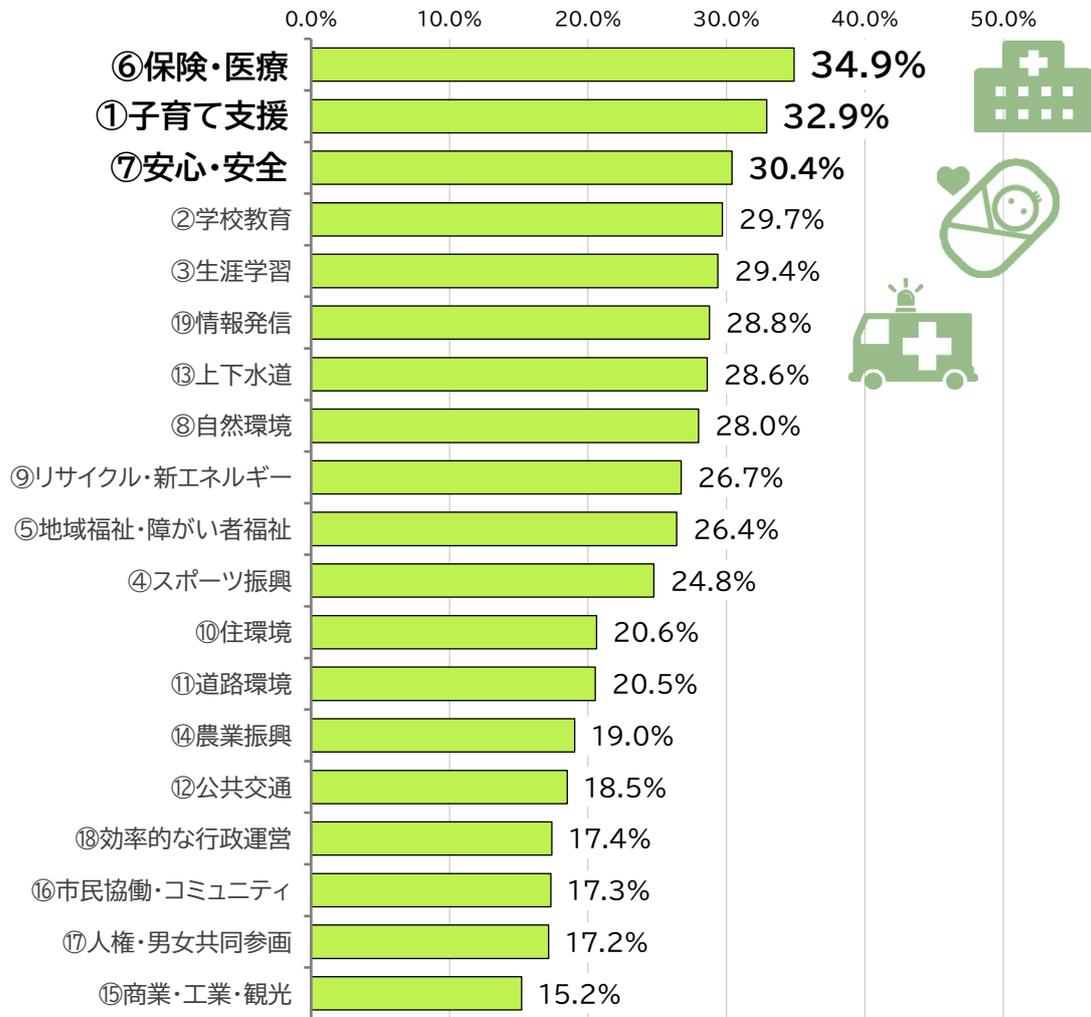
年代別



- 17の目標をすべて知っており、内容を説明できる
- いくつかの目標を知っており、内容もある程度知っている
- SDGsという言葉は聞いたことがあるが、内容はよく知らない
- SDGsという言葉を知らなかった、聞いたことはなかった

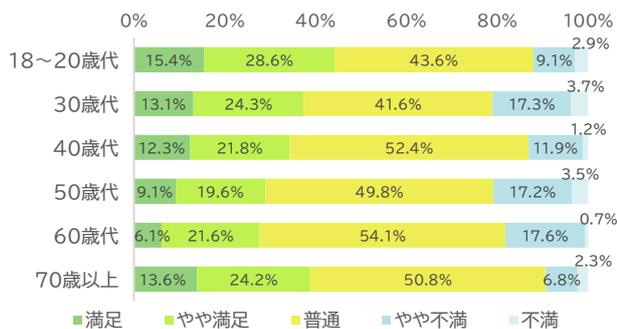
3. 市の取組について

問5 現在の満足度

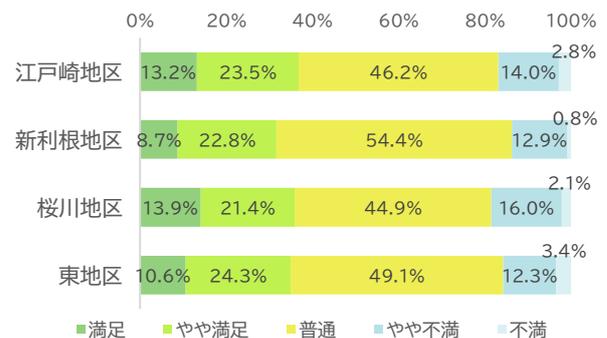


※無回答・無効は省略

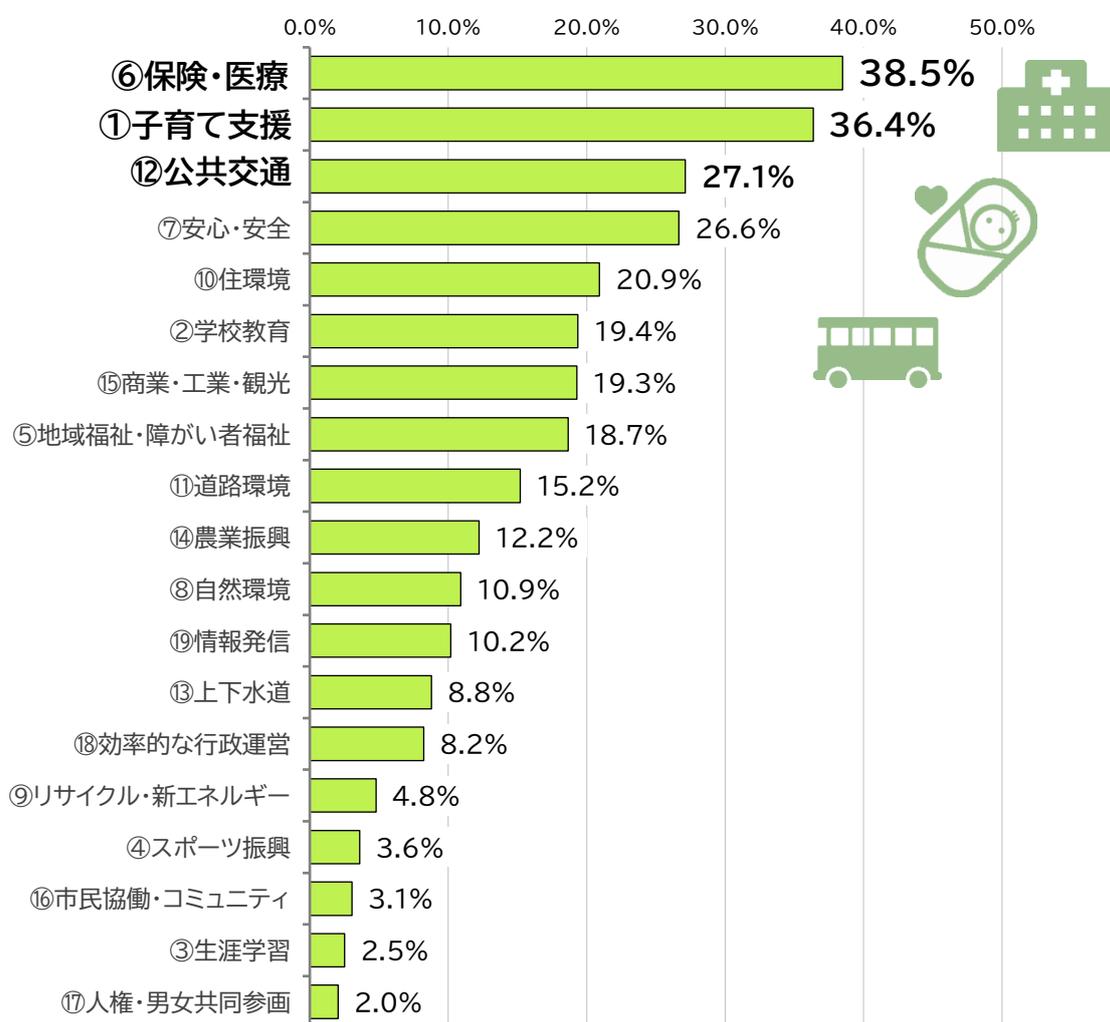
年代別 ⑥「保険・医療」の満足度の割合



地区別 ⑥「保険・医療」の満足度の割合



問 6 今後5年間の重要度



※無回答・無効は省略

年代別順位

▶30歳代では「学校教育」、60歳代以上では「安心・安全」なども重要性が高くなっている。

	1位(%)	2位(%)	3位(%)
18～29歳	①子育て支援(52.3)	⑥保険・医療(36.5)	⑫公共交通(28.6)
30歳代	①子育て支援(56.5)	⑥保険・医療(38.3)	②学校教育(34.6)
40歳代	⑥保険・医療(34.5)	⑫公共交通(32.9)	①子育て支援(30.6)
50歳代	⑥保険・医療(36.8)	①子育て支援(29.5)	⑫公共交通(29.1)
60歳代	⑥保険・医療(43.2)	⑦安心・安全(30.4)	⑩住環境(27.0)
70歳以上	⑥保険・医療(47.0)	⑦安心・安全・⑫公共交通(同率 30.3)	

CS グラフ(満足度・重要度)

・満足度が高く・重要度が高い(=市の強み)のは

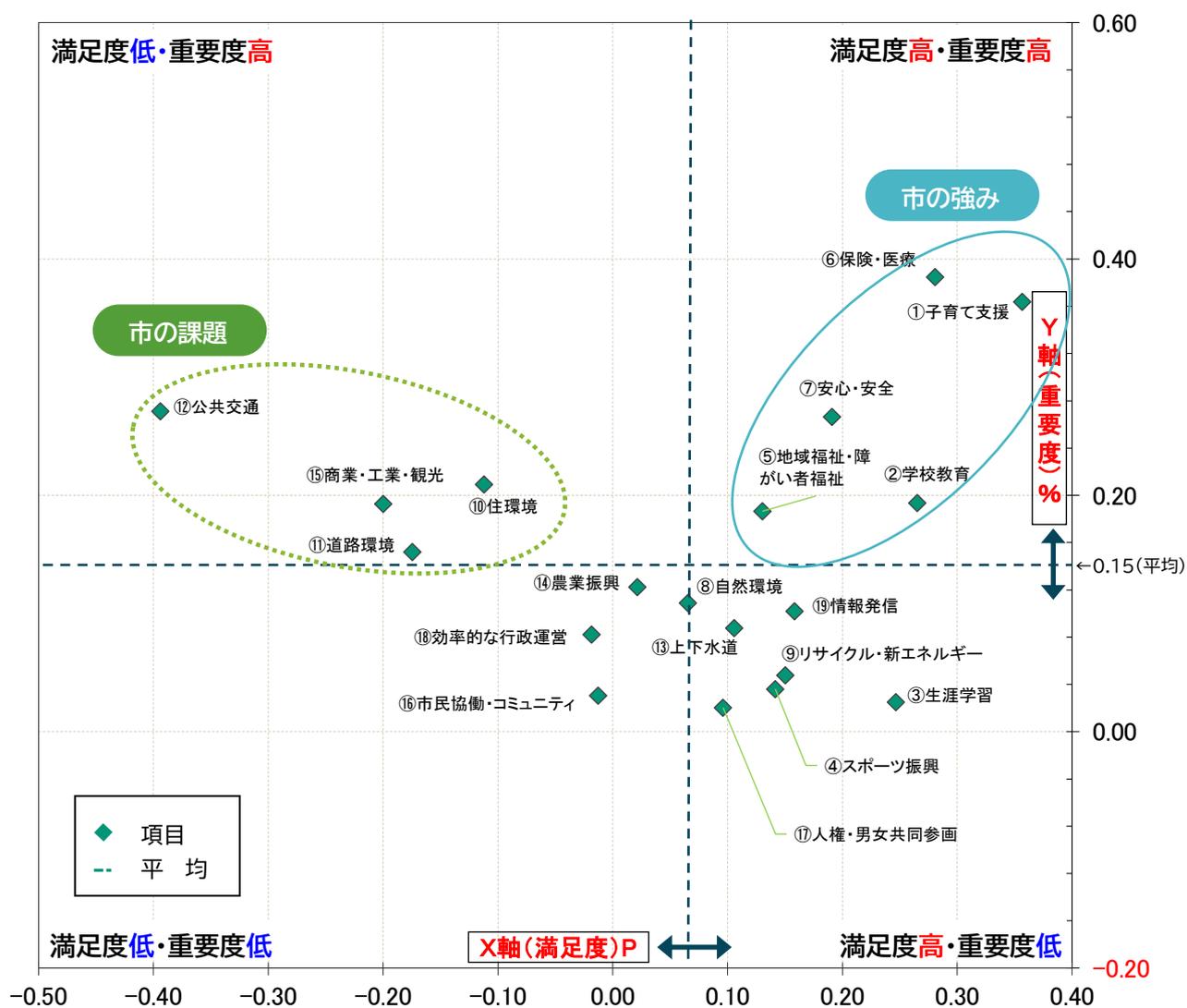


「保健・医療」「子育て支援」「安心・安全」「学校教育」「地域福祉・障がい者福祉」の5つ。
今後も継続して取り組むべき項目となっている。

・満足度が低く・重要度が高い(=市の課題)のは

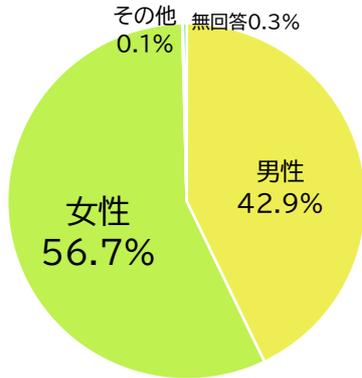


「公共交通」「商業・工業・観光」「住環境」「道路環境」の4つ。
優先的に改善すべき課題の項目となっている。



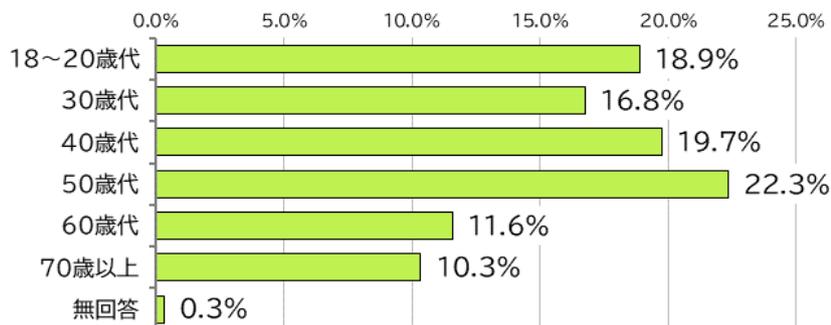
4. 回答者について

問7 性別

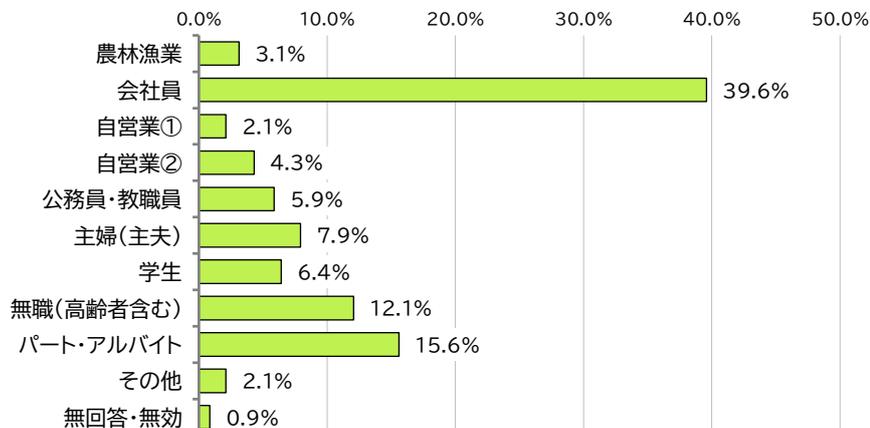


- ▶女性が 56.7%とやや多い。
- ▶50 歳代の回答が 2 割を超えている。
60 歳～70 歳以上は1割程度と少なくなっている。
- ▶中高年に加えて、若い世代の回答者も多い傾向。

問8 年齢

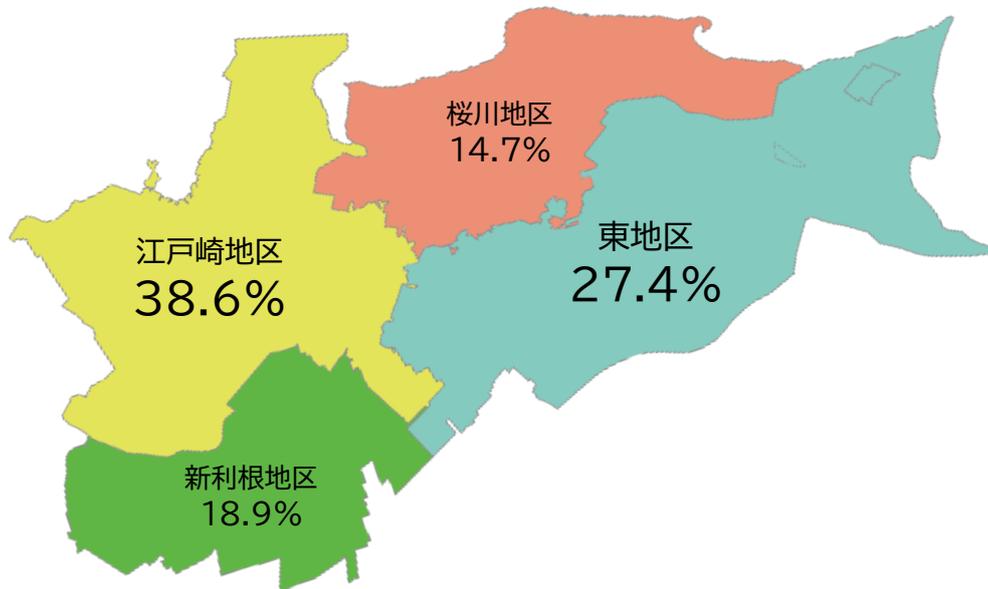


問9 職業

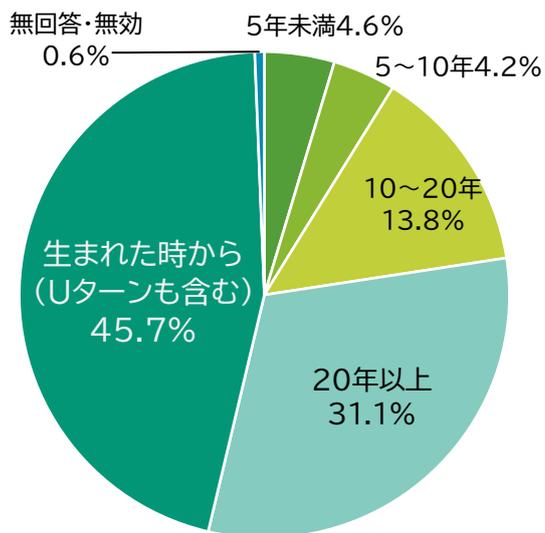


自営業①: 製造・建設業、自営業②: 商業・サービス業

問 10 居住地区



問 11 居住年数

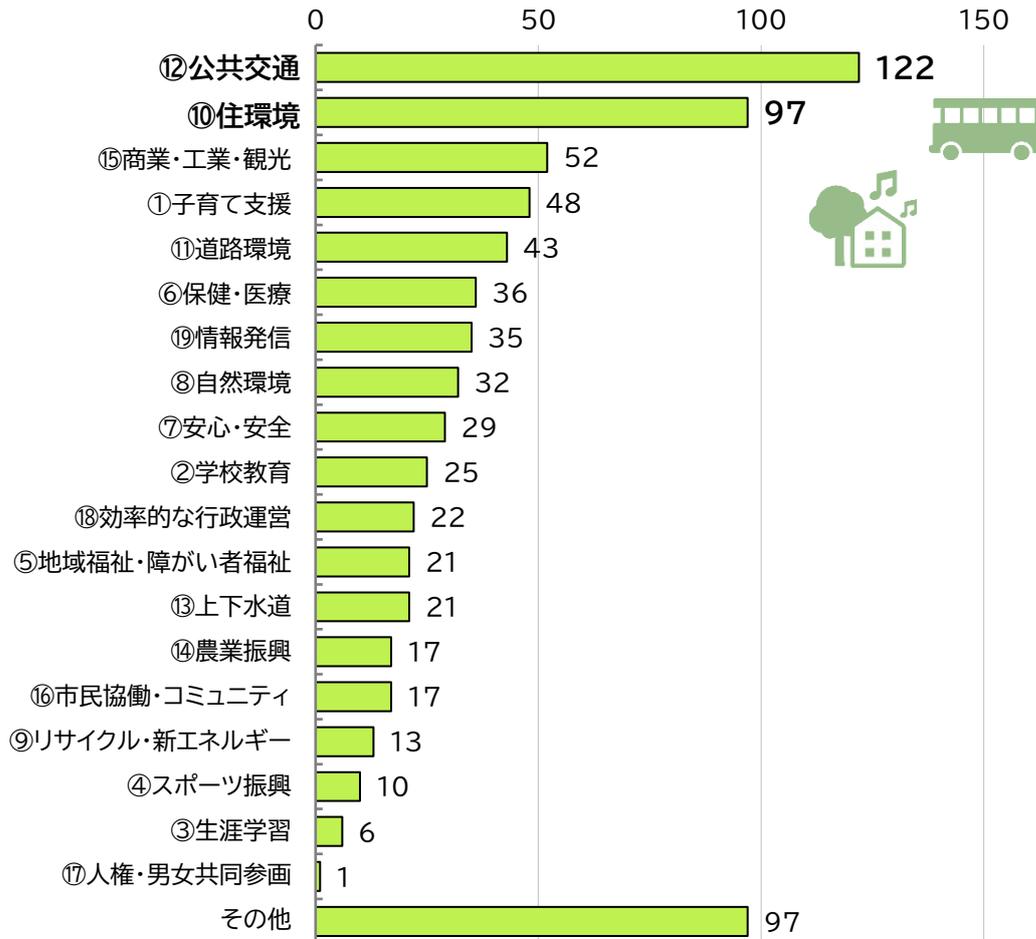


・居住年数が「生まれた時から」「20年以上」
合わせての回答者が約**77%**

問 12 市の暮らしについての自由意見

▶自由意見を、問5の市の取組の分類により、集計すると「公共交通」「住環境」についての意見が多くなっている。

▶どちらも満足度・重要度のCS分析で「最優先課題」の項目となっている。



※複数の項目にわたる意見は重複して集計



主な意見

- ▶利便性が悪く、公共交通の充実を求める意見が多い。
- ▶鉄道敷設を求める意見も多い。
- ▶学生の通学制限と送迎の負担など。
- ▶高齢化で免許返納した場合の交通手段の危惧など。



主な意見

- ▶空地・荒れ地、空家が増加しているという意見が多い。
- ▶生活環境の充実（道路・公園）や騒音問題、野焼き・ゴミ焼却対策など。
- ▶大型商業施設や日用品購入店の立地など利便性を求める意見が多い。

2. 調査結果報告書

■ 第2次稲敷市総合計画策定に係る市民意向調査集計結果 ■

1. 調査の目的

第2次稲敷市総合計画後期基本計画(令和6年度から令和9年度)を策定するにあたり、市民意向を把握し、計画に反映する上で基礎資料とするために実施した。

2. 調査方法

(1) 調査対象者

- ・ 市内在住の18歳以上の方、3,000名

(2) 調査方法

- ・ 郵送による配布・回収
- ・ WEBサイトでの回収

(3) 調査期間

- ・ 令和3年12月22日(水)～令和4年1月15日(土)

※ 令和4年1月31日(月) 到着分まで反映

3. 配布・回収状況

- ・ 標本数(抽出段階): 3,000票
 - ・ 標本数(回収段階): 2,989票
 - ・ 回収数: 1,277票(紙回収 906票、WEB回収 371票)
 - ・ 回収率: 42.7%(前回調査33.3%)
 - ・ 有効回答票: 1,276票
 - ・ 有効回答率: 42.7%
- 【参考】前回調査 配布数2,000票 回収数678票、回収率33.3%

4. アンケート結果の有効性について

一般的にアンケート調査を行う場合、通常、信頼水準 注1)は95%、許容できる許容誤差(標本誤差) 注2)の範囲は3%～5%程度の範囲までとされています。

稲敷市の18歳以上の人口は34,897人(茨城県常住人口調査 令和2年4月1日現在)であることから、

→ 787票の回収票があれば信頼水準95%、許容誤差3%の精度を確保

→ 500票の回収票があれば信頼水準95%、許容誤差4%の精度を確保

→ 341票の回収票があれば信頼水準95%、許容誤差5%の精度を確保

するアンケート結果となることが言えます。

したがって、今回の意向調査の回収数(1,276票)は、信頼水準95%、許容誤差3%程度の精度を確保したアンケート結果となっていることから、サンプリングアンケートとして十分、有効性のある意向調査であることが言えます。

注1) 信頼水準とは精度が保証される確率のこと。例えば95%水準というのは100回調査を行えば、95回は保証されるレベルを言います。

注2) 許容誤差(標本誤差)とは統計上の誤差のこと。例えば、同じ調査を異なる調査対象で行った場合、信頼水準を95%とすると、100回中95回までは-3%～+3%の間に収まることを言います。)

5. アンケート調査の分析にあたっての注意事項

- ・ 集計した数値(%)は、小数第2位を四捨五入した小数第1位までの表示となっています。したがって、シングル・アンサー〈SA〉(1つの選択肢のみを回答する設問)の合計は、100.0%とならない場合があります。
- ・ 回答者数を分母として割合(%)を計算しているため、マルチ・アンサー〈MA〉(複数の選択肢を回答する設問)の各選択肢の割合を合計した場合、100.0%を超えた数値となります。
- ・ グラフや表中の回答選択肢は、短縮して表記している場合があります。
- ・ 回答が少数である場合の比率については、特定の意向が強く反映される場合があります。
- ・ 有効回答者数は各設問に(n=●●)で表しています。回答数が限定されている設問で規定数以上を選択している場合や、対象者限定の設問で該当しない人が選択した票は無効としています。

6. アンケート調査項目

問番号 調査内容	回答形式
1. 稲敷市の住みごちについて	
問1 住みやすさ	SA
問2 定住意向	SA
問3 新型コロナウイルス感染症に対する市の対策で重要なこと	SA
問4 SDGsについての認識	SA
2. 稲敷市の取組について	
問5 市の取組についての満足度	SA
問6 取組についての今後5年間の重要度	MA
3. 回答者ご自身のことについて	
問7 性別	SA
問8 年齢	SA
問9 職業	SA
問10 居住地区	SA
問11 居住年数	SA
問12 自由回答(稲敷市の暮らしについての意見)	FA

7. アンケート標本の抽出・回収

標本抽出内訳及び回収率

年齢	江戸崎	新利根	桜川	東	総数	回収数	回収率
18-20歳代	292	142	97	187	718	241	33.6%
30歳代	245	118	83	158	604	214	35.4%
40歳代	244	118	82	159	603	252	41.8%
50歳代	245	119	83	156	603	285	47.3%
60歳代	100	45	32	60	237	148	62.4%
70代以上	98	46	31	60	235	132	56.2%
						不明 4	—
合計	1,224	588	408	780	3,000	1,276	42.5%

回収票内訳(有効回答票)

上段紙 下段Web

年齢	江戸崎		新利根		桜川		東		無回答		合計			
	紙	Web	回収数	回収率	紙	Web								
18-20歳代	96	66	46	28	33	18	66	33	0	0	241	18.9%	145	60.2%
		30		18		15		33		0			96	39.8%
30歳代	79	57	35	18	38	21	62	36	0	0	214	16.8%	132	61.7%
		22		17		17		26		0			82	38.3%
40歳代	92	60	56	32	36	20	67	39	1	1	252	19.7%	152	60.3%
		32		24		16		28		0			100	39.7%
50歳代	118	96	54	35	41	31	72	52	0	0	285	22.3%	214	75.1%
		22		19		10		20		0			71	24.9%
60歳代	56	51	25	23	24	17	43	39	0	0	148	11.6%	130	87.8%
		5		2		7		4		0			18	12.2%
70代以上	52	49	25	25	15	14	39	39	1	1	132	10.3%	128	97.0%
		3		0		1		0		0			4	3.0%
無回答	0	0	0	0	0	0	1	1	3	3	4	0.3%	4	100.0%
		0		0		0		0		0			0	0.0%
合計	493	379	241	161	187	121	350	239	5	5	1,276	100.0%	905	70.9%
		114		80		66		111		0			371	29.1%

各年代の上段: 紙回答 下段: Web回答

1 稲敷市の住みごちについて

問1 住みやすさ[SA]

・「普通」が約46%と最も多くなっている。次いで「住みやすい」が約33%、「住みにくい」が約12%となっている。「とても住みやすい」「住みやすい」を合わせると約38%となっている。

【年代別】

・年代別を見ると、「とても住みやすい」「住みやすい」を合わせた数値は18～40歳代が38.5%、50歳代以上が38.1%とほぼ同じであるが、「とても住みにくい」「住みにくい」の合計は18～40歳代が15.6%、50歳代以上が13.5%と若い世代の方が高くなっている。

【居住地区別】

・地区別でみると、「とても住みやすい」「住みやすい」を合わせた数値が最も高かったのは桜川地区で約43%である。次いで東地区が約42%、新利根地区が約37%、江戸崎地区が約34%となっている。逆に「とても住みにくい」「住みにくい」を合わせた数値では、江戸崎地区が約18%と最も多く、次いで新利根地区が17%、桜川地区が約13%、東地区が約10%となっている。

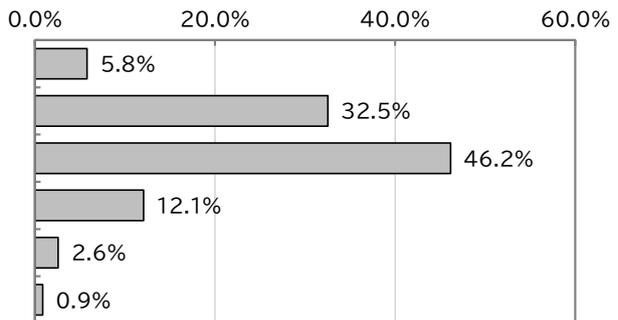
【経年比較】

・過去3回の調査と今回調査を比較すると、「とても住みやすい」は平成17年調査が6.1%と最も高く、調査年毎に減少し前回調査で3.5%になっていたが、今回調査では5.8%と増加している。「住みやすい」についても、過去3回の調査では27%前後であったが、今回調査では32.5%まで上がっている。

・「住みにくい」では前回調査が18.4%であったが、今回調査では12.1%になり、「とても住みにくい」も5.3%から2.6%に減少している。住みにくさは前回調査では増加傾向であったが、今回調査は減少しており、全体的に住みやすいとする傾向になっている。

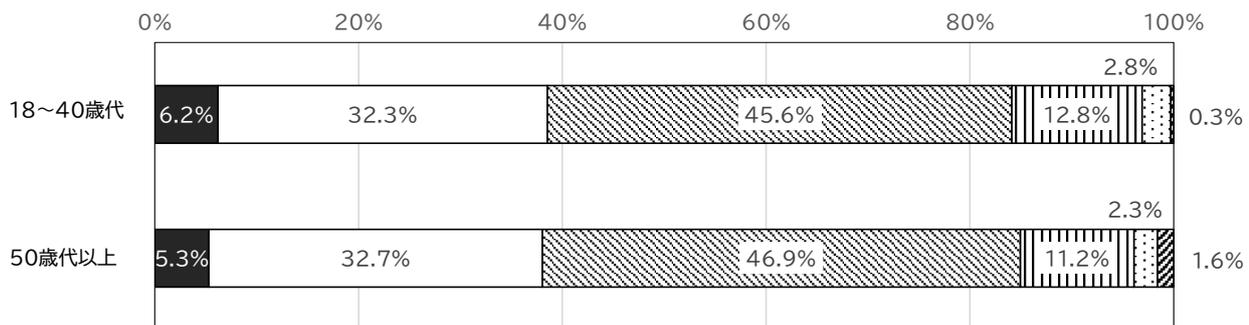
		票数	%
1	とても住みやすい	74	5.8%
2	住みやすい	415	32.5%
3	普通(どちらともいえない)	589	46.2%
4	住みにくい	154	12.1%
5	とても住みにくい	33	2.6%
6	無回答・無効	11	0.9%
	合計	1,276	100.0%

n = 1,276



<年代別>

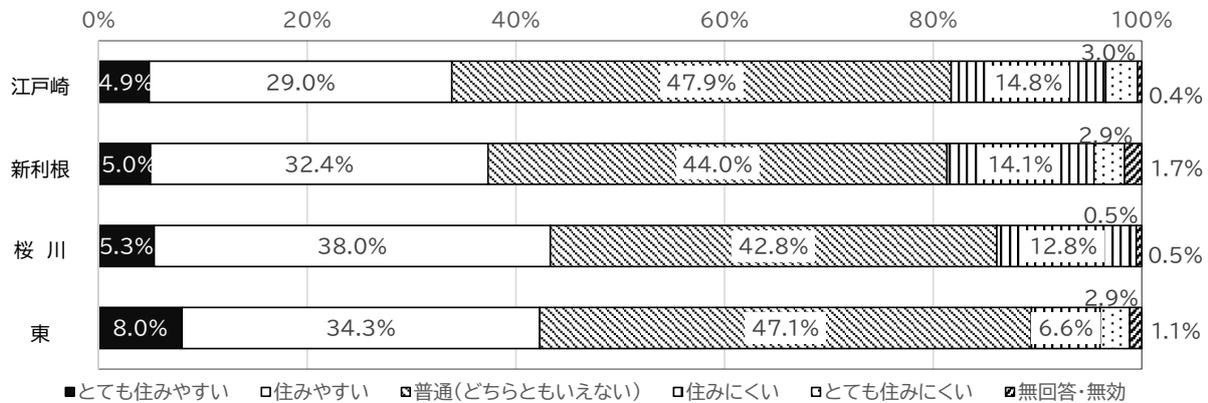
		18～40歳代		50歳代以上	
		票数	%	票数	%
1	とても住みやすい	44	6.2%	30	5.3%
2	住みやすい	230	32.3%	185	32.7%
3	普通(どちらともいえない)	324	45.6%	265	46.9%
4	住みにくい	91	12.8%	63	11.2%
5	とても住みにくい	20	2.8%	13	2.3%
6	無回答・無効	2	0.3%	9	1.6%
	合計	711	100.0%	565	100.0%



■とても住みやすい □住みやすい ▨普通(どちらともいえない) ▩住みにくい ▪とても住みにくい ▫無回答・無効

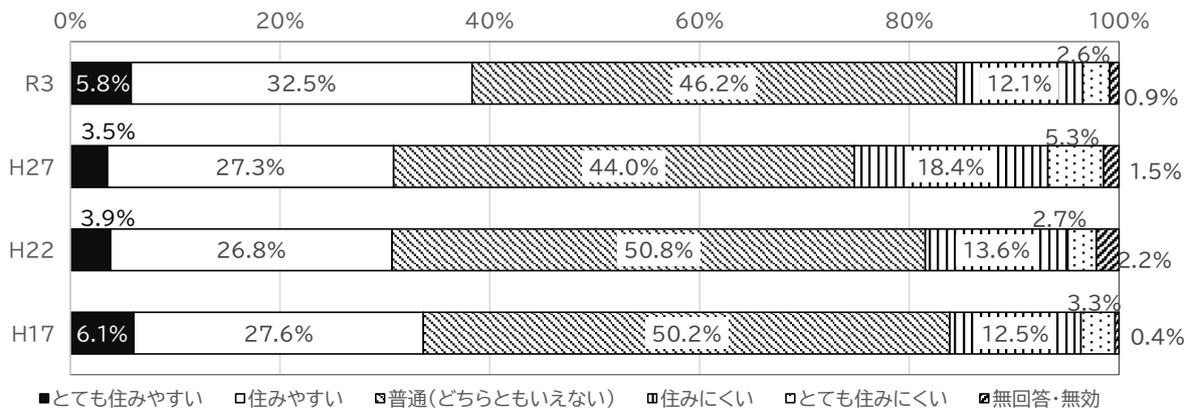
<居住地区別>

		江戸崎		新利根		桜川		東	
1	とても住みやすい	24	4.9%	12	5.0%	10	5.3%	28	8.0%
2	住みやすい	143	29.0%	78	32.4%	71	38.0%	120	34.3%
3	普通(どちらともいえない)	236	47.9%	106	44.0%	80	42.8%	165	47.1%
4	住みにくい	73	14.8%	34	14.1%	24	12.8%	23	6.6%
5	とても住みにくい	15	3.0%	7	2.9%	1	0.5%	10	2.9%
6	無回答・無効	2	0.4%	4	1.7%	1	0.5%	4	1.1%
	合計	493	100.0%	241	100.0%	187	100.0%	350	100.0%



<過去調査との比較>

		今回調査 R3		H27	H22	H17
		票数	%	%	%	%
1	とても住みやすい	74	5.8%	3.5%	3.9%	6.1%
2	住みやすい	415	32.5%	27.3%	26.8%	27.6%
3	普通(どちらともいえない)	589	46.2%	44.0%	50.8%	50.2%
4	住みにくい	154	12.1%	18.4%	13.6%	12.5%
5	とても住みにくい	33	2.6%	5.3%	2.7%	3.3%
6	無回答・無効	11	0.9%	1.5%	2.2%	0.4%
	合計	1,276	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%



問2 定住意向[SA]

・「住み続けたい」が約39%で最も多く、次いで「当分住みたい」「どちらとも言えない」がほぼ同じ割合となっている。「住み続けたい」と「当分住みたい」を合わせると、約63%となっている。

【年代別】

・年代別で見ると、「住み続けたい」「当分住みたい」を合わせた数値は18～40歳代が58.8%で、50歳代以上は69.0%と約10%多くなる。「できれば住み続けたくない」「住み続けたくない」の合計は18～40歳代が13.2%、50歳代以上が8.5%と約5%ほど若い世代の方が多くなっている。

【居住地区別】

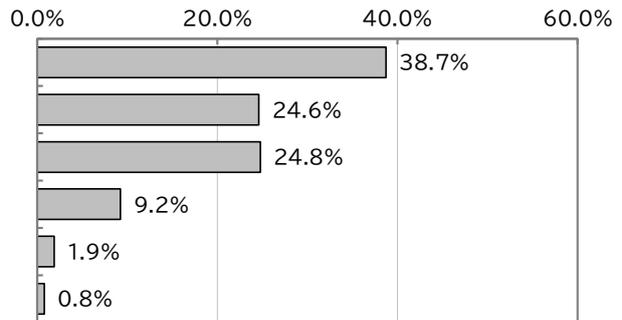
・地区別で見ると、「住み続けたい」では江戸崎地区、新利根地区、桜川地区は約35%でほぼ同じであるが、東地区は48%と非常に高くなっている。「当分住みたい」を合わせた数値でも東地区が66.6%と最も多くなっている。「できれば住み続けたくない」と「住み続けたくない」を合わせた数値では、桜川地区が8.5%と最も少ない。江戸崎地区は12.7%と最も多くなっている。

【経年比較】

・過去3回の調査と今回調査を比較すると、「住み続けたい」は平成17年調査の53.5%から4～6%ずつ下がり続けており、16年間で15%程下がっている。「当分住みたい」と「どちらとも言えない」については、平成17年調査から2～5%程上がり続け、今回調査でどちらも約25%となっており同じような傾向を示している。「できれば住み続けたくない」と「住み続けたくない」は前回調査で増加傾向となっていたが、今回調査では減少し、「できれば住み続けたくない」9.2%、「住み続けたくない」1.9%とこれまでの調査で最も低くなっている。

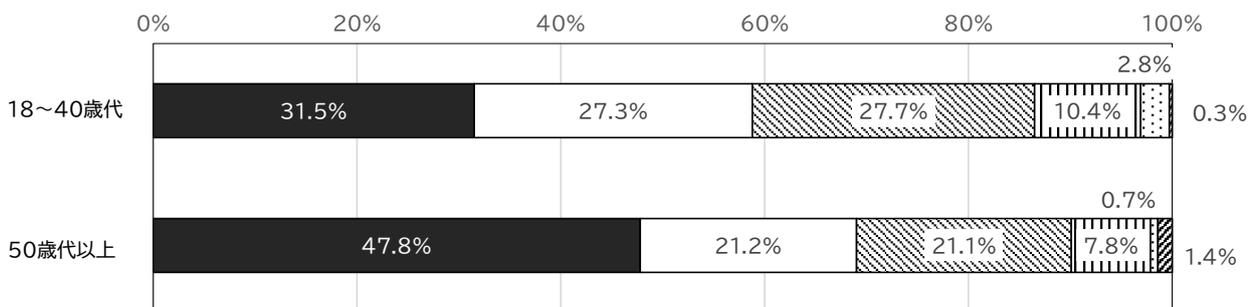
		票数	%
1	住み続けたい	494	38.7%
2	当分住みたい	314	24.6%
3	どちらとも言えない	316	24.8%
4	できれば住み続けたくない	118	9.2%
5	住み続けたくない	24	1.9%
6	無回答	10	0.8%
	合計	1,276	100.0%

n = 1,276



<年代別>

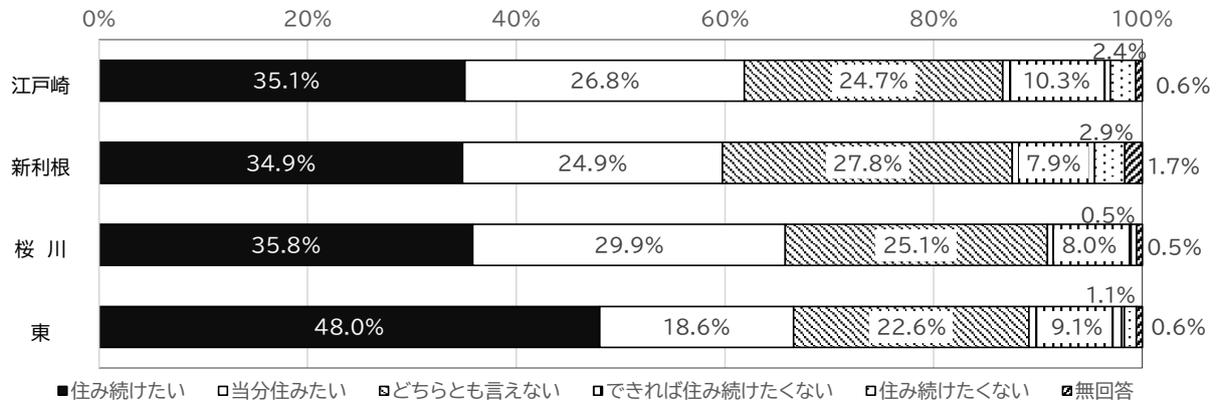
		18～40歳代		50歳代以上	
1	住み続けたい	224	31.5%	270	47.8%
2	当分住みたい	194	27.3%	120	21.2%
3	どちらとも言えない	197	27.7%	119	21.1%
4	できれば住み続けたくない	74	10.4%	44	7.8%
5	住み続けたくない	20	2.8%	4	0.7%
6	無回答	2	0.3%	8	1.4%
	合計	711	100.0%	565	100.0%



■住み続けたい □当分住みたい ▨どちらとも言えない ▩できれば住み続けたくない ▪住み続けたくない ▫無回答

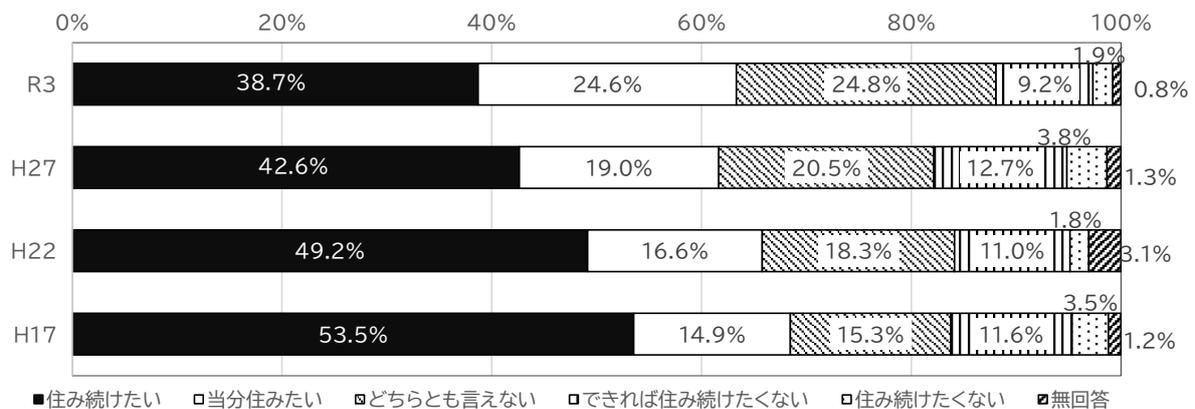
<居住地区別>

		江戸崎		新利根		桜川		東	
1	住み続けたい	173	35.1%	84	34.9%	67	35.8%	168	48.0%
2	当分住みたい	132	26.8%	60	24.9%	56	29.9%	65	18.6%
3	どちらとも言えない	122	24.7%	67	27.8%	47	25.1%	79	22.6%
4	できれば住み続けたくない	51	10.3%	19	7.9%	15	8.0%	32	9.1%
5	住み続けたくない	12	2.4%	7	2.9%	1	0.5%	4	1.1%
6	無回答	3	0.6%	4	1.7%	1	0.5%	2	0.6%
	合計	493	100.0%	241	100.0%	187	100.0%	350	100.0%



<過去調査との比較>

		今回調査 R3		H27	H22	H17
		票数	%	%	%	%
1	住み続けたい	494	38.7%	42.6%	49.2%	53.5%
2	当分住みたい	314	24.6%	19.0%	16.6%	14.9%
3	どちらとも言えない	316	24.8%	20.5%	18.3%	15.3%
4	できれば住み続けたくない	118	9.2%	12.7%	11.0%	11.6%
5	住み続けたくない	24	1.9%	3.8%	1.8%	3.5%
6	無回答	10	0.8%	1.3%	3.1%	1.2%
	合計	1,276	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%



問3 新型コロナウイルス感染症に対する市の対策で重要なこと[SA]

・「ワクチン接種や検査の実施体制の確保」が約39%で最も多く、次いで「正確な知識や適切な情報の迅速な提供」が約33%、「中小企業や市民への経済支援」が約14%となっている。

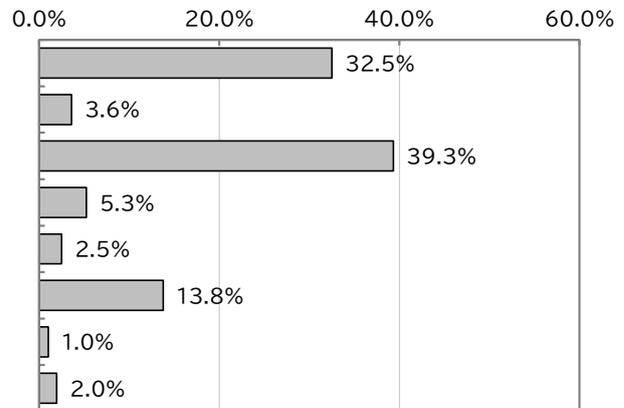
【年代別】

・年代別で見ると、「ワクチン接種や検査の実施体制の確保」は18～40歳代は約33%、50歳代以上は約47%と14%程の差がみられ、特にワクチンによる副反応や年代による重症化率の差も結果の要因の一つと思われる。「デジタル技術を生かした新しい生活様式の形成」では18～40歳代は7.2%に対し、50歳代以上は2.8%となっている。また、「中小企業や市民への経済支援」も18～40歳代が17.4%で、50歳代以上は9.2%とそれぞれ約2倍近く若い世代の方が多くなっている。

【居住地区別】

・地区ごとにあまり差異はみられないが、「ワクチン接種や検査の実施体制の確保」は桜川地区が他の地区に比べ8%程高くなっている。逆に「中小企業や市民への経済支援」は他の地区に比べ4%ほど低くなっている。

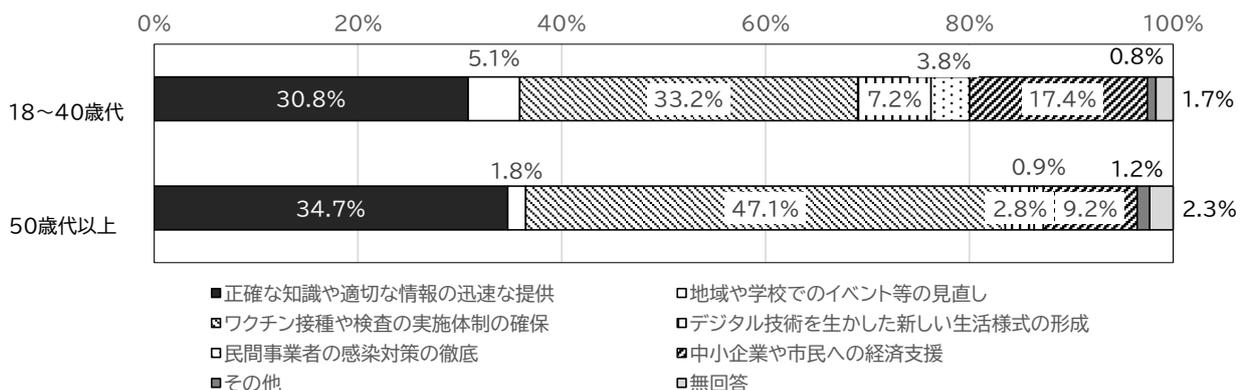
		票数	%
1	正確な知識や適切な情報の迅速な提供	415	32.5%
2	地域や学校でのイベント等の見直し	46	3.6%
3	ワクチン接種や検査の実施体制の確保	502	39.3%
4	デジタル技術を生かした新しい生活様式の形成	67	5.3%
5	民間事業者の感染対策の徹底	32	2.5%
6	中小企業や市民への経済支援	176	13.8%
7	その他	13	1.0%
8	無回答	25	2.0%
	合計	1,276	100.0%



n = 1,276

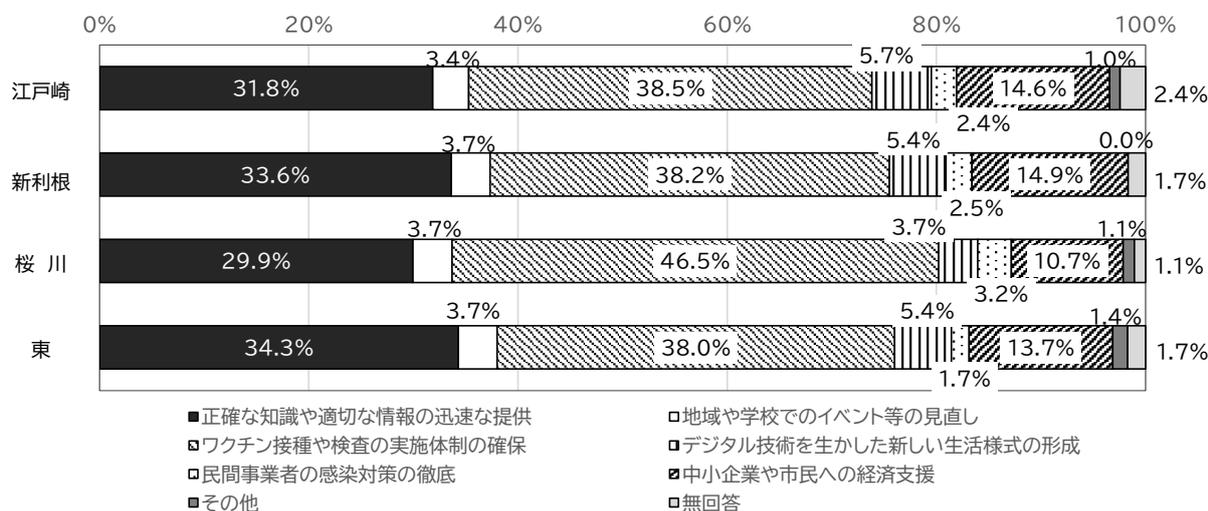
<年代別>

		18～40歳代		50歳代以上	
		票数	%	票数	%
1	正確な知識や適切な情報の迅速な提供	219	30.8%	196	34.7%
2	地域や学校でのイベント等の見直し	36	5.1%	10	1.8%
3	ワクチン接種や検査の実施体制の確保	236	33.2%	266	47.1%
4	デジタル技術を生かした新しい生活様式の形成	51	7.2%	16	2.8%
5	民間事業者の感染対策の徹底	27	3.8%	5	0.9%
6	中小企業や市民への経済支援	124	17.4%	52	9.2%
7	その他	6	0.8%	7	1.2%
8	無回答	12	1.7%	13	2.3%
	合計	711	100.0%	565	100.0%



<居住地区別>

		江戸崎	新利根	桜川	東
1	正確な知識や適切な情報の迅速な提供	31.8%	33.6%	29.9%	34.3%
2	地域や学校でのイベント等の見直し	3.4%	3.7%	3.7%	3.7%
3	ワクチン接種や検査の実施体制の確保	38.5%	38.2%	46.5%	38.0%
4	デジタル技術を生かした新しい生活様式の形成	5.7%	5.4%	3.7%	5.4%
5	民間事業者の感染対策の徹底	2.4%	2.5%	3.2%	1.7%
6	中小企業や市民への経済支援	14.6%	14.9%	10.7%	13.7%
7	その他	1.0%	0.0%	1.1%	1.4%
8	無回答	2.4%	1.7%	1.1%	1.7%
	合計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%



その他[コロナになった後の対応策・ワクチン接種に関してなどの差別のないこと・生活困窮者や学生への経済支援・正確な知識や適切な情報の把握、それに伴う迅速な対策対応の徹底 など]

問4 SDGsについての認識[SA]

・「SDGsという言葉は聞いたことがあるが、内容はよく知らない。」が約40%と最も多く、次いで「いくつかの目標を知っており、内容もある程度知っている。」が約35%となっている。
 ・「17の目標をすべて知っており、内容を説明できる」「いくつかの目標を知っており、内容もある程度知っている」を合わせると、認知度は36.4%となっている。

【年代別】

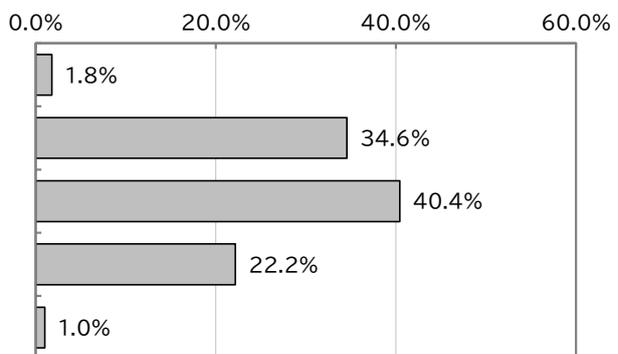
・年代別を見ると、18～40歳代は「17の目標をすべて知っており、内容を説明できる」「いくつかの目標を知っており、内容もある程度知っている」を合わせると、40.1%となり 50歳代以上では31.6%で約9%の差となっている。「SDGsという言葉は聞いたことがあるが、内容はよく知らない」は18～40歳代が38.5%、50歳代以上は42.8%であり、何かしら聞いたことがある人まで含めると、若い世代は約78%、高い年齢層では約75%となっている。

【居住地区別】

・地域別で見ると、「SDGsという言葉は聞いたことがあるが、内容はよく知らない。」は桜川地区が他の地区に比べ8%程高くなっている。逆に「いくつかの目標を知っており、内容もある程度知っている。」SDGsという言葉を知らなかった、聞いたことはなかった。」は桜川地区では他の地区に比べ4%ほど低くなっている。

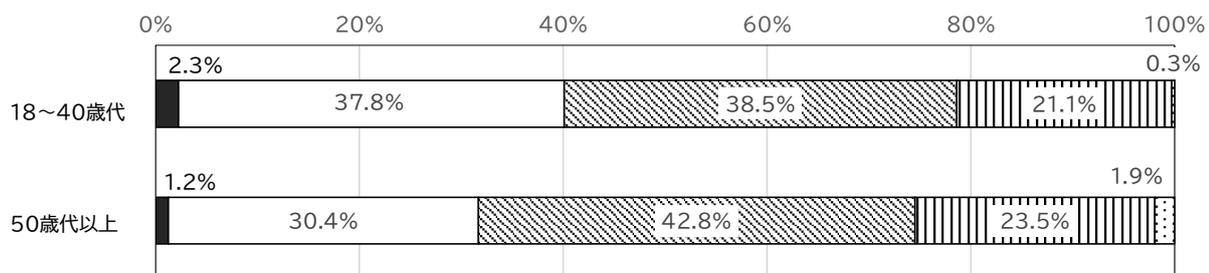
		票数	%
1	17の目標をすべて知っており、内容を説明できる	23	1.8%
2	いくつかの目標を知っており、内容もある程度知っている	441	34.6%
3	SDGsという言葉は聞いたことがあるが、内容はよく知らない	516	40.4%
4	SDGsという言葉を知らなかった、聞いたことはなかった	283	22.2%
5	無回答・無効	13	1.0%
	合計	1,276	100.0%

n = 1,276



<年代別>

		18～40歳代		50歳代以上	
1	17の目標をすべて知っており、内容を説明できる	16	2.3%	7	1.2%
2	いくつかの目標を知っており、内容もある程度知っている	269	37.8%	172	30.4%
3	SDGsという言葉は聞いたことがあるが、内容はよく知らない	274	38.5%	242	42.8%
4	SDGsという言葉を知らなかった、聞いたことはなかった	150	21.1%	133	23.5%
5	無回答	2	0.3%	11	1.9%
	合計	711	100.0%	565	100.0%

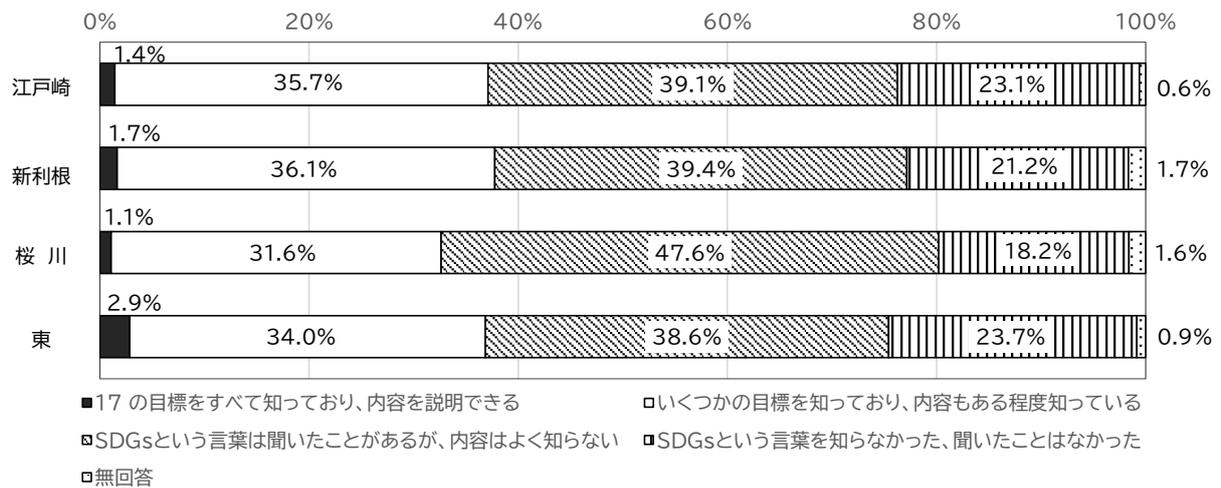


■ 17の目標をすべて知っており、内容を説明できる
 □ SDGsという言葉は聞いたことがあるが、内容はよく知らない
 □ 無回答

□ いくつかの目標を知っており、内容もある程度知っている
 □ SDGsという言葉を知らなかった、聞いたことはなかった

<居住地別>

		江戸崎	新利根	桜川	東
1	17の目標をすべて知っており、内容を説明できる	1.4%	1.7%	1.1%	2.9%
2	いくつかの目標を知っており、内容もある程度知っている	35.7%	36.1%	31.6%	34.0%
3	SDGsという言葉は聞いたことがあるが、内容はよく知らない	39.1%	39.4%	47.6%	38.6%
4	SDGsという言葉を知らなかった、聞いたことはなかった	23.1%	21.2%	18.2%	23.7%
5	無回答	0.6%	1.7%	1.6%	0.9%
	合計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%



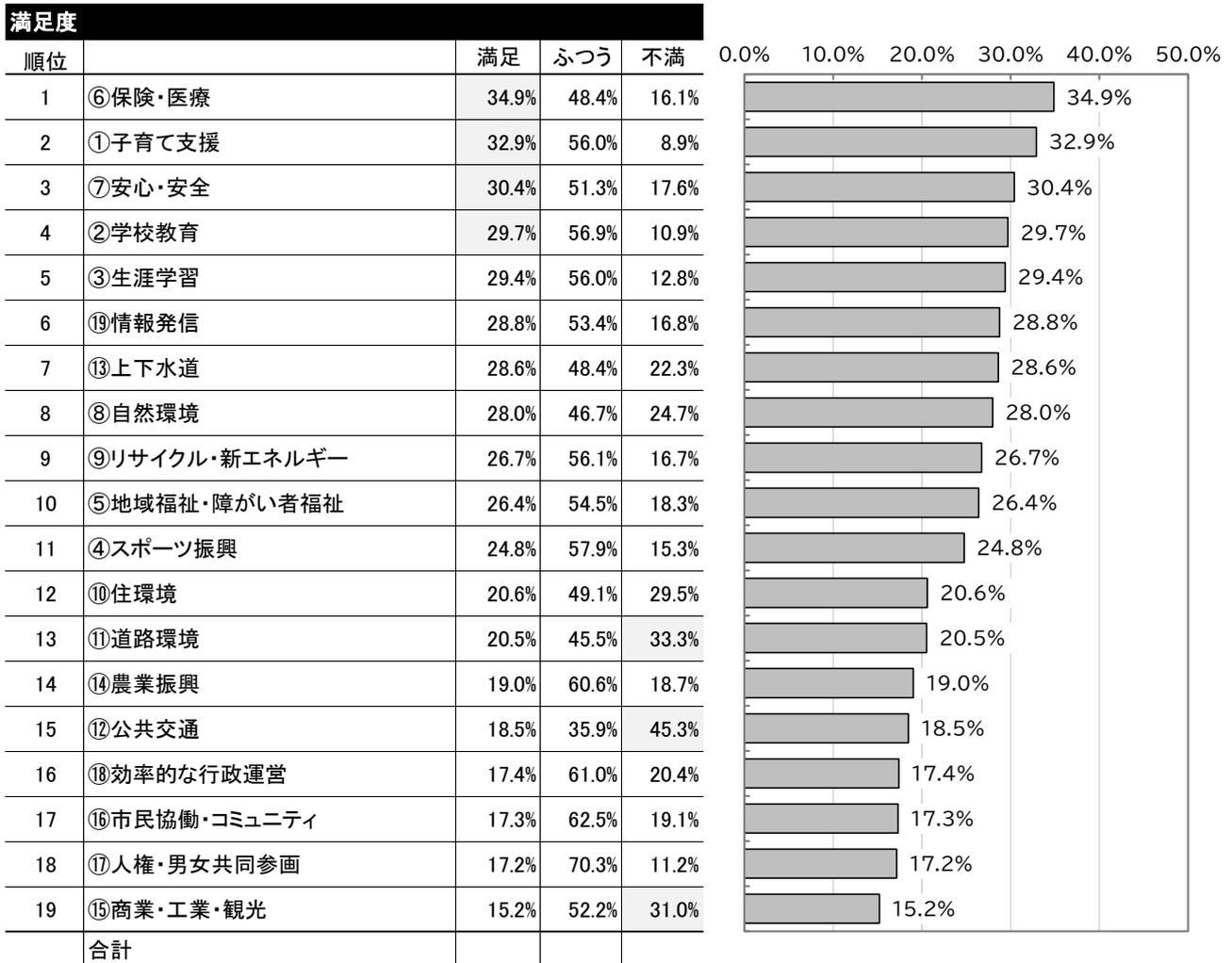
2 稲敷市の取組について

問5 市の取組についての満足度[SA]

満足度で最も高いものは、「保健・医療」で約35%、次いで「子育て支援」が約33%、「安心・安全」が約30%、「学校教育」が30%弱となっている。「生涯学習」や「情報発信」、「上下水道」においても比較的満足度が高くなっている。逆に不満度が高いものは、「公共交通」が約45%、「道路環境」が約33%、「商業・工業・観光」が31%で30%を超えている。他に「住環境」や「効率的な行財政運営」「市民協働・コミュニティ」では不満が満足を上回っている。

「満足＝満足＋やや満足の合計値」、「ふつう＝ふつう」、「不満＝やや不満＋不満の合計値」で集計しています。

※満足が高いもの順



n= 1,276

問6 取組についての今後5年間の重要度[MA]

重要度で最も高いものは、「保健・医療」が約39%、次いで「子育て支援」が約36%、「公共交通」が約27%、「安心・安全」が約26%となっている。

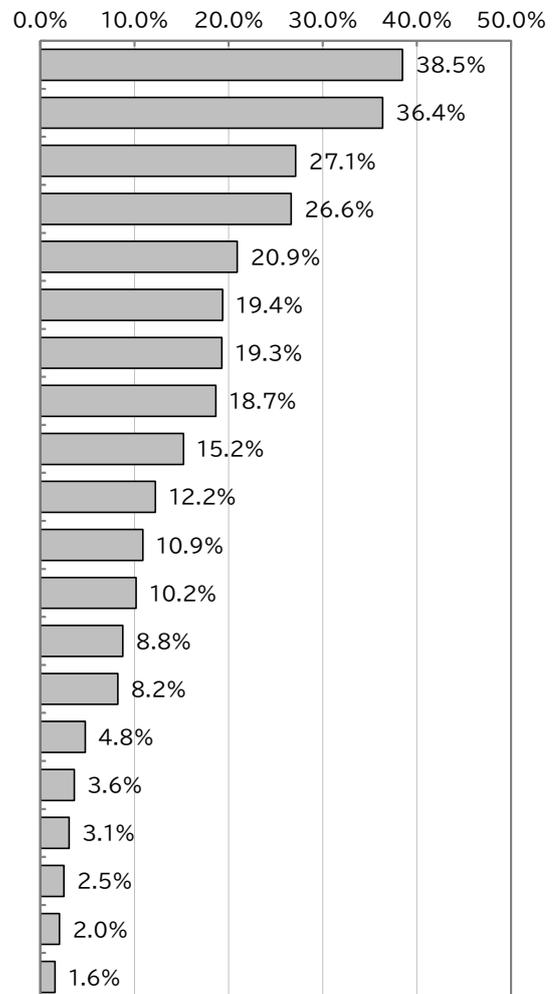
「保健・医療」「子育て支援」「安心・安全」については現在の満足度も高いものであるが、「公共交通」については現在の満足度が低いものである。

*複数回答の設問であるため、回答者数に対する回答数の割合で示している。

※重要度が高いもの順

重要度		票数	%
順位			
1	⑥保険・医療	491	38.5%
2	①子育て支援	464	36.4%
3	⑫公共交通	346	27.1%
4	⑦安心・安全	340	26.6%
5	⑩住環境	267	20.9%
6	②学校教育	247	19.4%
7	⑮商業・工業・観光	246	19.3%
8	⑤地域福祉・障がい者福祉	238	18.7%
9	⑪道路環境	194	15.2%
10	⑭農業振興	156	12.2%
11	⑧自然環境	139	10.9%
12	⑲情報発信	130	10.2%
13	⑬上下水道	112	8.8%
14	⑱効率的な行政運営	105	8.2%
15	⑨リサイクル・新エネルギー	61	4.8%
16	④スポーツ振興	46	3.6%
17	⑯市民協働・コミュニティ	39	3.1%
18	③生涯学習	32	2.5%
19	⑰人権・男女共同参画	26	2.0%
20	無回答・無効	20	1.6%
	合計	3,699	

n= 1,276



取組分野に対する満足度・重要度分析について

分野別にみる「現在の満足度」と「今後の重要度」の散布図

問5の満足度について、それぞれ「満足」+2P、「やや満足」+1P、「ふつう」0P、「やや不満」-1P、「不満」-2Pに換算し、合計値を各項目の回答数で割った平均値を出した。

問6の重要度については各項目の得票数を有効回答数(1,276)で割った割合(%)を使い、それぞれの数値をもとに、散布図を作成した。

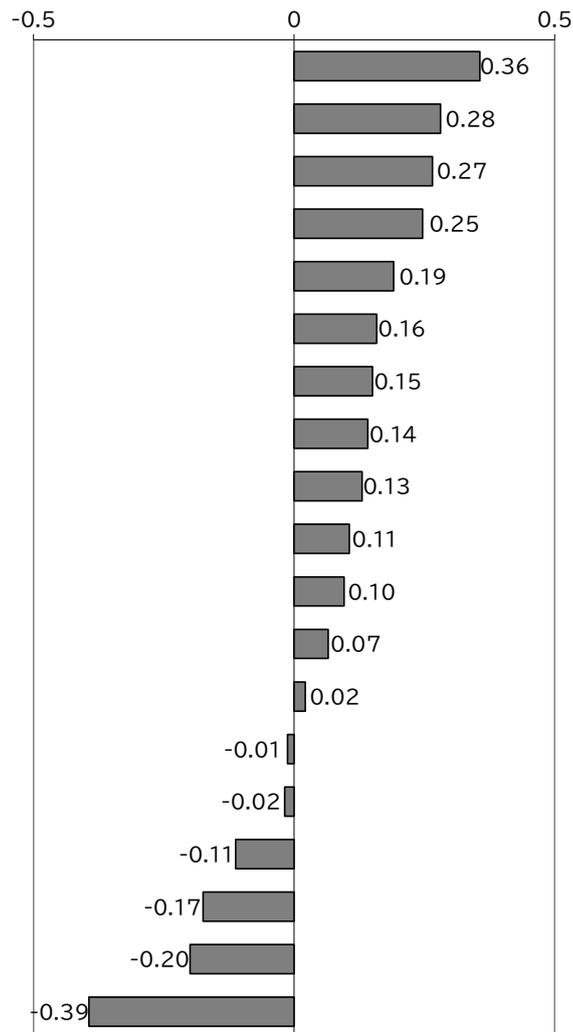
満足度について、ポイント換算した場合には、「子育て支援」が0.36ポイントと最も高くなった。次いで「保健・医療」が0.28ポイント、「学校教育」が0.27ポイントとなっている。

1位から13位の「農業振興」まではプラスポイントで「満足」が「不満」を上回っているが、14位以下の「市民協働・コミュニティ」から「公共交通」は「満足」より「不満」が高く、マイナスポイントとなっており市民から見て、行政サービスが不足しているものといえる。

特に「公共交通」については-0.39ポイントで多くの市民が「不満」と感じている結果である。

満足度（ポイント換算）

順位		ポイント
1	①子育て支援	0.36
2	⑥保険・医療	0.28
3	②学校教育	0.27
4	③生涯学習	0.25
5	⑦安心・安全	0.19
6	⑱情報発信	0.16
7	⑨リサイクル・新エネルギー	0.15
8	④スポーツ振興	0.14
9	⑤地域福祉・障がい者福祉	0.13
10	⑬上下水道	0.11
11	⑰人権・男女共同参画	0.10
12	⑧自然環境	0.07
13	⑭農業振興	0.02
14	⑯市民協働・コミュニティ	-0.01
15	⑱効率的な行政運営	-0.02
16	⑩住環境	-0.11
17	⑪道路環境	-0.17
18	⑮商業・工業・観光	-0.20
19	⑫公共交通	-0.39
	平均	0.07

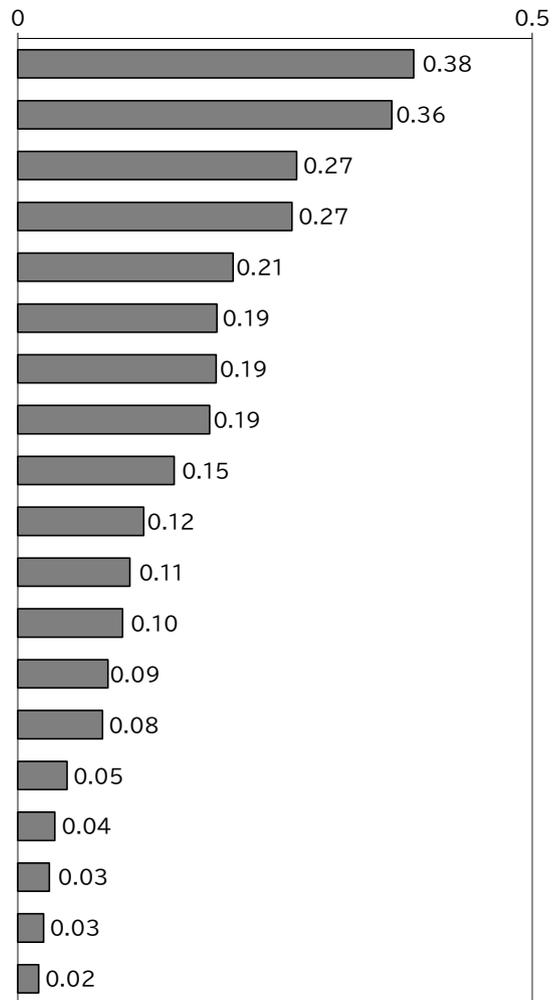


重要度については、前述した内容と同じであるが、平均の0.15より高いものは今後の行政サービスでもこれまで以上に求められるものである。

「保健・医療」や「子育て支援」、「学校教育」など社会福祉関連とともに、子育てしやすいためのものであり、それらの施策が重要視されている。また、3位の「公共交通」は自家用車を使えない若年層や高齢者にとっては生活上必要であり、地域福祉と関連が高いものである。7位の「商業・工業・観光」は地域に活気を求めているとともに、働く場をもとめているものである。

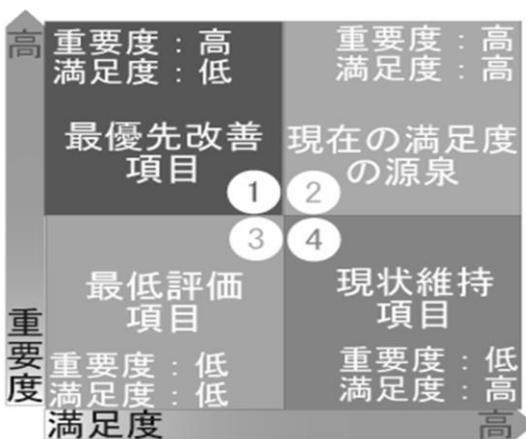
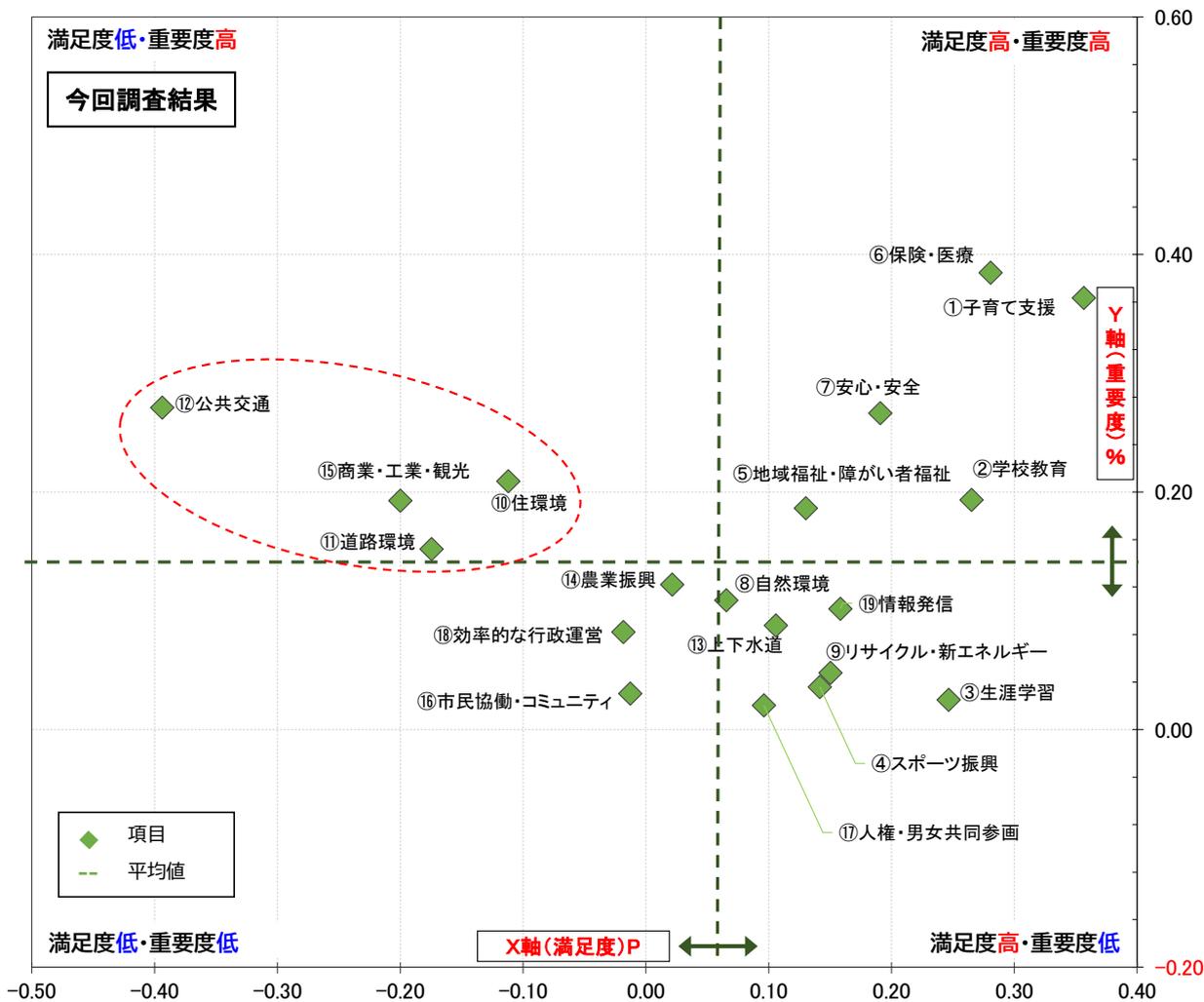
重要度（割合 N=有効回答数）

順位		割合
1	⑥保険・医療	0.38
2	①子育て支援	0.36
3	⑫公共交通	0.27
4	⑦安心・安全	0.27
5	⑩住環境	0.21
6	②学校教育	0.19
7	⑮商業・工業・観光	0.19
8	⑤地域福祉・障がい者福祉	0.19
9	⑪道路環境	0.15
10	⑭農業振興	0.12
11	⑧自然環境	0.11
12	⑰情報発信	0.10
13	⑬上下水道	0.09
14	⑱効率的な行政運営	0.08
15	⑨リサイクル・新エネルギー	0.05
16	④スポーツ振興	0.04
17	⑯市民協働・コミュニティ	0.03
18	③生涯学習	0.03
19	⑰人権・男女共同参画	0.02
	平均	0.15



CS分析散布図(今回調査結果)

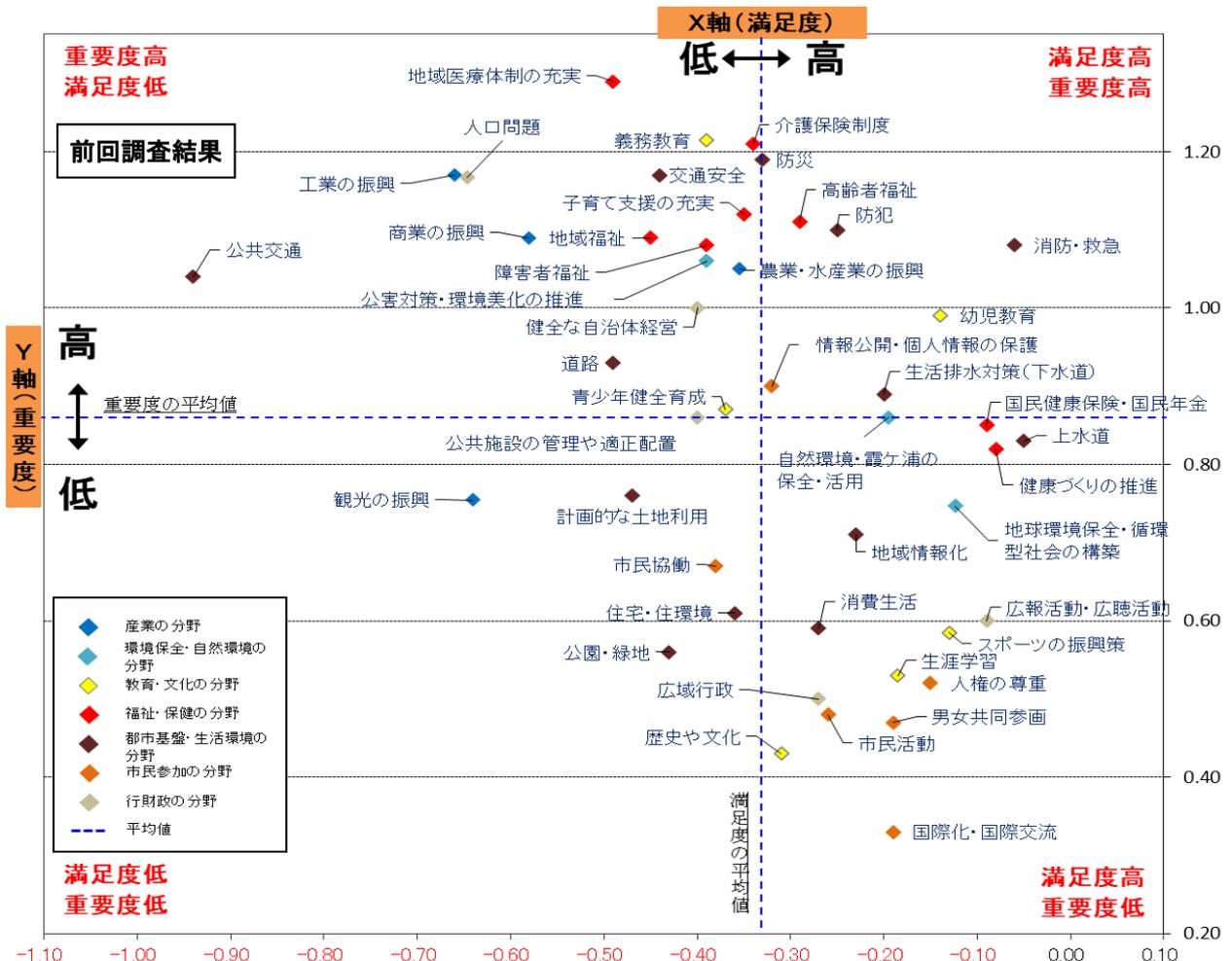
- ・満足度が高く・重要度が高い範囲には「保健・医療」、「子育て支援」、「安心・安全」、「学校教育」、「地域福祉・障がい者福祉」の5つが入っており、今後も継続して取り組むことが求められている項目となっている。
- ・満足度が低く・重要度が高い範囲には「公共交通」、「商業・工業・観光」、「住環境」、「道路環境」の4つが入り、今後優先的に取り組むことが求められる最優先改善項目となっている。
- ・満足度が高く・重要度が低い「人権・男女共同参画」、「生涯学習」、「スポーツ振興」、「リサイクル・新エネルギー」、「情報発信」、「上下水道」、「自然環境」は現状維持が求められる項目となっている。
- ・満足度が低く・重要度が低い「農業振興」、「効率的な行政運営」、「市民協働・コミュニティ」については、満足度の向上を検討しながら、現状の取組を維持していくことが求められる項目となっている。



CS分析散布図(前回調査結果)

【前回調査との比較】

- ・今回のアンケート調査は前回の項目内容及び質問の取り方が異なるため、単純に比較できない。
- ・満足度が低く・重要度が高い範囲には「公共交通」、「商業の振興」、「工業の振興」、「道路環境」の4つは今回調査でも同じ最優先改善項目となっている。「子育て支援の充実」、「地域医療体制の充実」、「地域福祉」、「義務教育」などは今回の調査で満足度が高く・重要度も高い範囲に入っている。
- ・重要度をみると、前回の結果では「住宅・住環境」が平均値より下であったが、今回の調査では平均値よりも高い位置となっている。



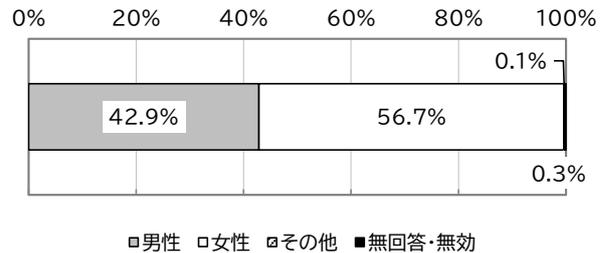
3 回答者属性

問7 性別[SA]

「女性」が約57%、「男性」が約43%となっている。

		票数	%
1	男性	547	42.9%
2	女性	724	56.7%
3	その他	1	0.1%
	無回答・無効	4	0.3%
	合計	1,276	100.0%

n = 1,276

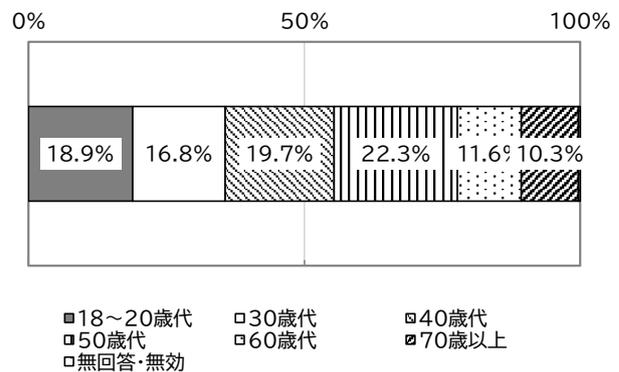


問8 年齢[SA]

「50歳代」が約22%で最も多く、次いで「40歳代」が約20%、「18～20歳代」が約19%となっており、比較的若い世代の回答も多くなっている。「60歳代」と「70歳代以上」を合わせると約22%である。

		票数	%
1	18～20歳代	241	18.9%
2	30歳代	214	16.8%
3	40歳代	252	19.7%
4	50歳代	285	22.3%
5	60歳代	148	11.6%
6	70歳以上	132	10.3%
	無回答・無効	4	0.3%
	合計	1,276	100.0%

n = 1,276

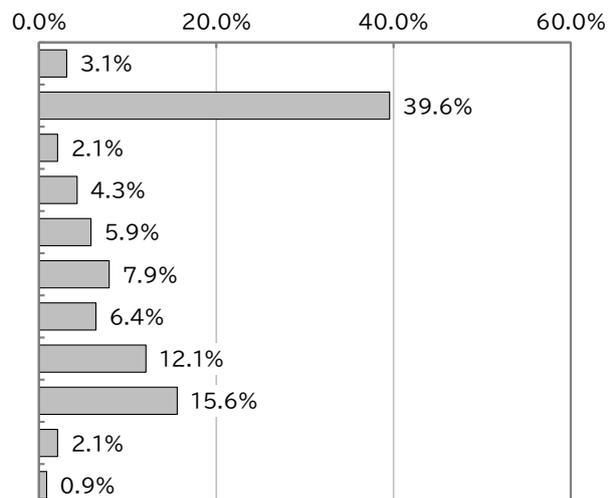


問9 職業[SA]

「会社員」が約40%で最も多く、次いで「パート・アルバイト」が約16%、「無職(高齢者含む)」が約12%で、他は10%未満となっている。

		票数	%
1	農林漁業(家族従事者を含む)	40	3.1%
2	会社員(すべての業種の勤め人)	505	39.6%
3	自営業(製造・建設業)	27	2.1%
4	自営業(商業・サービス業)	55	4.3%
5	公務員・教職員(公社・公団職員も含む)	75	5.9%
6	主婦(主夫)	101	7.9%
7	学生	82	6.4%
8	無職(高齢者含む)	154	12.1%
9	パート・アルバイト	199	15.6%
10	その他	27	2.1%
11	無回答・無効	11	0.9%
	合計	1,276	100.0%

n = 1,276



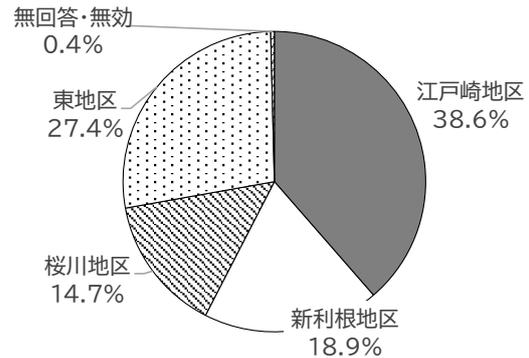
その他[介護職員・障害支援センター・看護師・医療関係・保育士・法人役員・派遣社員・シルバー人材に登録・家事手伝い・美浦トレセン勤務 など]

問10 住んでいる地区[SA]

「江戸崎地区」が約39%、「東地区」が約27%、「新利根地区」が約19%、「桜川地区」が約15%となっている。

		票数	%
1	江戸崎地区	493	38.6%
2	新利根地区	241	18.9%
3	桜川地区	187	14.7%
4	東地区	350	27.4%
5	無回答・無効	5	0.4%
	合計	1,276	100.0%

n= 1,276

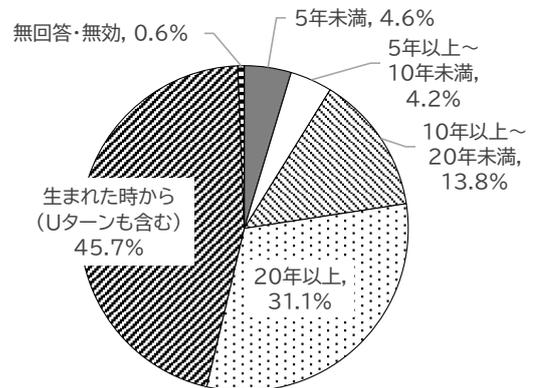


問11 居住年数[SA]

「生まれた時から」が約46%と最も多く、次いで「20年以上」が約31%、「10年以上～20年未満」が約14%となっている。

		票数	%
1	5年未満	59	4.6%
2	5年以上～10年未満	53	4.2%
3	10年以上～20年未満	176	13.8%
4	20年以上	397	31.1%
5	生まれた時から (Uターンも含む)	583	45.7%
6	無回答・無効	8	0.6%
	合計	1,276	100.0%

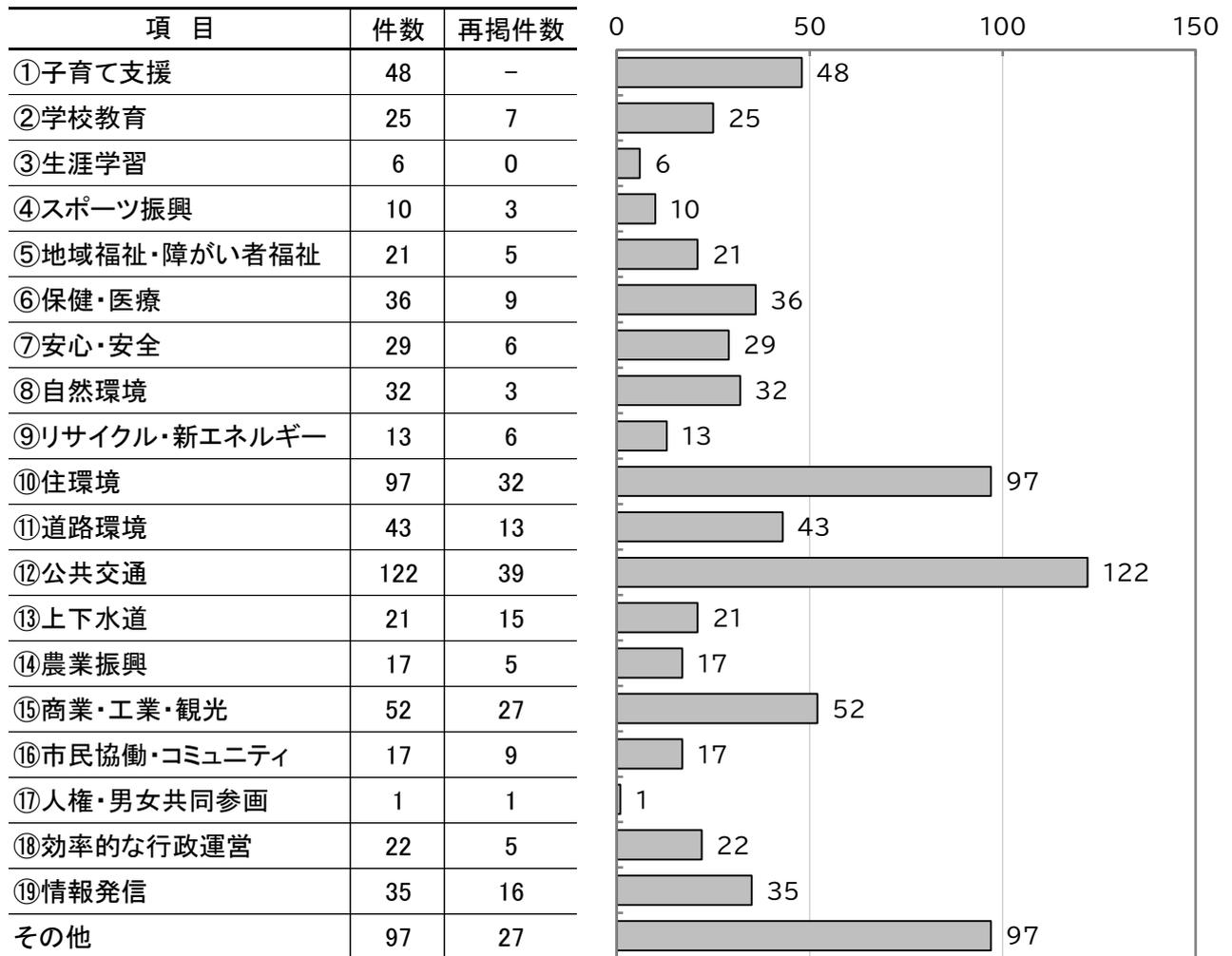
n= 1,276



問12 稲敷市の暮らしについての自由意見

自由意見について、問5①から⑱の項目及びその他の項目に分類し、集計した。意見によっては複数の項目に及ぶものもあるため、それぞれの件数に入れている。

再掲件数は前出の項目で掲載したものである。



自由意見の概要

①子育て支援

これまで市で行ってきた支援事業や役所での対応に満足している意見、感謝の言葉も多数みられた。今後の施策には、支援等の充実を望む意見が32件あり、学用品や支援金などの各種補助のほか、預かり保育や検診などの医療関係、保育士の待遇改善などの意見もみられる。

子育て支援を手厚く充実することによって、稲敷市に住みたいと思う人が増え、人口増加につながるという意見もみられる。

②学校教育

学校教育では、登下校の安全を望む意見が多く、バス通学の導入、立哨当番の見直しや見守りの委託などの意見がみられる。

児童生徒数が少なく寂しいため学校の統合や再編を望む意見も多く見られる。

学校教育の充実では、将来に活かせるスキルを身に付けさせることや、幼稚園や保育園で特色ある取組を行うこと、地域文化の伝承や郷土愛を育む取組、部活の充実や外部講師の導入、学校給食の改善を求める意見もみられた。

③生涯学習

生涯学習では、レクリエーションなどへの参加希望や、地域の歴史文化を知りたいという意欲的な意見も見られた。また、神社仏閣など文化財の保護を求める意見もあった。図書館に関しては、立地場所や開館時間などの改善要望の意見がみられる。

④スポーツ振興

スポーツ振興では、運動施設の充実やトイレの改善意見のほか、新たに市民プールやキャンプ場の設置、サイクリングロードの休憩施設を望む意見がみられた。現在コロナ禍であるが、コロナが終息すればスポーツを楽しみたいという意見や、イベントや大会開催を望む意見も見られた。

⑤地域福祉・障がい者福祉

地域福祉に関して高齢者福祉は10件の意見があり、高齢者も社会参加や活躍できる場を設けることや、高齢者施設の充実、幼児との交流を求める意見もあった。

また、運転免許証の返納後の交通手段確保など、後出の⑫公共交通とも関連する意見がみられる。

障がい者福祉では、車いす対応の店舗などの情報入手など、障がいがあっても安心して暮らせる街を望む意見がみられる。また、障がい者自身が入所できる施設の設置や、障がい者への各種情報提供を望む意見がみられた。

⑥保健・医療

保健・医療に関しては、病院が不足しているという意見が多く見られ、医療施設の充実を求める意見も多く、総合病院の設置や、特に産婦人科や小児科に対する要望がみられた。また、不妊治療の助成や18歳までの医療費無料化などの意見もみられた。

健康診断については、現在のサービスが充実していると評価する意見もあるが、予約なしでの受診や若い世代から受診できるような制度などを求める意見もあった。

新型コロナウイルス感染症の予防に関する対策は、これまでのワクチン接種など速やかな対応で良かったとする意見がある。今後も早目の対応をお願いしたいとする意見もある。

⑦安心・安全

安心・安全に関しては、災害対策の充実を求める意見や、避難所の新設や場所の検討、それに関連して既設避難所が災害時に機能するかどうか、既設の町内放送が聞き取りにくいなどの意見がみられた。

交通安全に関しては、交通安全パトロールの充実、自転車交通の安全、高齢者の運転が不安であるなどの意見がみられる。

また、夜間は道が暗いので街灯の設置要望のほか、電線に絡まっている植木の手入れをお願いする意見がみられる。空家が増えていることから火事にならないか心配する意見や、不法投棄、蛇口の盗難、イノシシに襲われないかなどの不安とする意見がみられる。

近年は外国人の居住も増えていることから、治安に対して不安視する意見もみられる。

⑧自然環境

自然豊かで良い環境という意見が多く、子育てに良いという意見もあるが、自然環境を活かしきれていないとする意見も多い。自然環境を保全した秩序ある開発統制や計画を行うことと、自然の魅力を活かした開発を行うことで移住してもらうとする意見がみられた。また、自然環境が壊されているという意見も多く、ゴミが多いことや霞ヶ浦のほか河川の水質が悪いとする意見も多い。

次項の⑨リサイクル・新エネルギーとも関連するが、山林を切り開いてソーラーパネルを設置することで、自然景観や環境を壊しているという意見も多数みられる。

景観美化として樹木や草花を植える。環境や野生生物と共存できる稲作を行うなどの意見もあった。

⑨リサイクル・新エネルギー

リサイクル・新エネルギーに関しては、市内に不法投棄やゴミのポイ捨てがあるという意見がみられる。また、資源ごみの分別回収が一部行われていないや、市のゴミ袋が小さい、無償化してほしいという意見がある。

前項の⑧自然環境でもあったが、新エネルギーとしての太陽光パネルを設置するために、森林環境の破壊を行っており、環境保全の面で疑問に思っている意見も数件みられる。

⑩住環境

住環境については、住みやすいという意見もあるが、空地や荒地、耕作放棄地がみられることと、空家が増加しているという意見が多い。空家はリフォームして貸すほか、解体するという意見がある。

騒音では暴走族やバイクがあげられるが、飛行場近くでは飛行機の騒音、工場団地の騒音もある。悪臭として、庭や田畑での野焼・ゴミ焼却があり、非常に迷惑しているという意見もあった。

生活環境では、道路の管理や公園施設の充実、ゴミのポイ捨てなどの対策、イノシシなどの安全性の問題などがあり、住環境では高齢者が自宅を管理できなくなっているなどがある。

生活の利便性では、ショッピングセンターのような大型商業施設から日常の買い回り品の商店の立地を求める意見が多く、現状では他市まで買い物等に行き、お金を使っているという意見も見られた。

⑪道路環境

道路環境では、路面に水が溜ったり、段差ができて騒音振動の原因になるため、傷んだ道路の改修を望む意見がみられる。また、道路を歩く際、周辺の草木が茂って歩きづらく、車道に出してしまうので危険であるという意見がある。併せて、ゴミのポイ捨てもあり、清掃管理が必要。また、凍結時は危険なので、見回りや対処してほしいという管理の意見がみられる。

整備としては、道路が狭く危険なため、拡幅を望む意見や、バイパスの整備、危険な交差点の改良を行ってほしいという意見がある。また、歩道がない箇所も多く、危険なので歩道を設置してほしい。道路上の電柱も危険。バリアフリー化を望むなどの意見が多い。

脱炭素社会が進むなか、新型の自動車に対応した水素ステーションや充電設備の設置を求める意見も見られた。

⑫公共交通

自由意見の中でも、公共交通に関する意見が最も多い。ほとんどが利便性が悪いという内容で、公共交通の充実を求める意見が多く、既存のバス路線では増便を望む意見と、路線の変更等充実を求める意見もある。また、龍ヶ崎市とをつなぐ鉄道敷設を求める意見も多い。

現状では、高校生など通学に公共交通機関を使うには限られた学校を選ばなくてはならず、そのため親などの家族の負担も大きい。大学ではさらに条件は厳しくなる。

現在運行しているコミュニティバスの利用者も限られ、路線も地域によっては使いづらいという意見もあり、全体的な再編や検討を求める意見もある。

多くの市民は自家用車で移動しているが、高齢者や今後自身が高齢化により自家用車を運転できなくなった時の交通手段を危惧する意見も多く、利便性がよいところへ移転することを考える回答が多い。

⑬上下水道

上下水道に関しては、未整備個所では悪臭や蚊の発生等で迷惑しているという回答がみられ、その他でも整備を推進して整備範囲の拡大と早期完備を求める意見がみられる。

また、上下水道の使用料を下げたいという意見とともに、助成金の拡充を求める意見や全世帯加入制度の検討などの意見もあった。

⑭農業振興

農業振興では、今後の米作りが不安だという意見がみられる。農業組織の運営や休耕地を利用した農業経営事業、農業法人化等への行政支援などの意見がみられ、稲敷市の自然豊かな田んぼなどを活かした魅力を発信する企業を支援するなどの意見や、その他にも高齢者や未経験者への助成、若い世代も農業ができるような仕組み、農業希望者の募集など担い手としての意見がみられる。また、これまで農業を続けてきた小規模兼業農家にも農業を続けていけるよう支援を求める意見がみられる。

整備については、農道や水路護岸、畔などへの補助を求める意見がみられた。

⑮商業・工業・観光

商業・工業・観光については、企業誘致を行い雇用の創出を求める意見が多い。商業については、生活に必要な日常買回り店など住環境的な意味合いも含まれるが、大型商業施設を誘致する要望が多く、にぎわいや活気が増えるとともに、雇用の場も増えるという意見がみられる。

企業誘致には圏央道を活かし、工場や運送関連企業、遠方からも集客が考えられる大型商業施設を求める意見が多くみられる。

観光資源の新たな創出もあり、桜で観光名所を造ることやキャンプ施設整備、道の駅の設置などの意見がみられた。

⑯市民協働・コミュニティ

今後地域コミュニティを含め過疎地になるという意見や、地域コミュニティのあり方を再考するべきとの意見がみられた。また、地域全員参加の奉仕活動や地域主導のまちづくりを行うことによって、災害時の相互扶助につながるという意見もみられる。

現在は地域の伝統が停滞しているという意見や、市民が交流できるイベントの開催などの意見のほか、コミュニティとのつながりを持ちたいという意見もあるが、転入者に対して近隣への思いやりがないや、よそ者を受け入れないという意見もみられる。

小学校跡を利用した高齢者のコミュニティの必要性や、幅広い層のコミュニケーションを求める意見がみられる。

一方で、外国人居住者に対して、生活ルールを理解してもらうことなど、外国人とのコミュニケーションについても考えなければならないような意見もみられた。

⑰人権・男女共同参画

人権・男女共同参画についての自由意見は少なく、男尊女卑が残っているとする意見がみられた。

⑱ 効率的な行政運営

効率的な行政運営では、市長や議員と市民の交流が少ないという意見のほか、議員活動や給料がよくわからないとする意見がみられた。

行政運営では新たな視点をもつことや、市民の生活様式を考慮した行政の改革、市民本位のサービスなどの意見がみられ、責任をもって真剣に取り組んでほしいという意見があった。

また、今の行政では、江戸崎でしかできない手続きが不便であるとか、イベント等で地域に偏りがあるなどの意見がみられ、市から移住する要因を調べ対応することや、行政手続きのデジタル化、DXの推進（デジタルトランスフォーメーション）とそれらに対応できるよう職員研修を行うなどの提案意見もみられた。

市民と直接対応する業務では、スピーディーで良いという評価もあり、特にコロナ対策の給付金やワクチン接種対応を評価している。また、職員の対応が丁寧で以前より良くなったとする意見が多いが、一方で対応が悪い、資質向上を求める意見もみられる。

⑲ 情報発信

情報発信では、市民に向けた市政情報を詳しく発信することを求める意見が多く、ホームページに掲載を望んでいる。今回のアンケートで質問した取組などは、これまで知らなかったなど、周知不足であるという回答やもっとアピールしてほしいという回答もみられる。

詳しく新しい情報を求める意見がみられるが、各市民に情報を更新してもらうことも必要である。また、デジタル化に対応して高齢者にもわかりやすく説明することも必要とされ、デジタル社会への対応支援を求める意見もみられた。

市外の人に向けては、稲敷市の魅力やおいしいものをホームページやSNSで発信するという意見がみられる。他県からも人が来るように観光に力をいれたり、食べ物などを紹介する意見が多い。

その他

街づくりに関して、市街化調整区域の規制で建物やお店が建てられないことから、都市計画や土地利用の見直しを求める意見がみられた。また、4地区の良いところを活かしたまちづくりや、地区によって施設が集中しているので分散してほしいとの意見もみられる。

一昨年からコロナ禍の対応で、各種の支援が行われたが、学生や中小企業への支援に対する感謝の回答が多くみられた。また、「田舎に住んでテレワーク」など現在の時勢を好機ととらえる意見もあった。

また、少子高齢化と人口流出に対する意見や今の市の目標が見えないという意見もみられた。一方で、働き手世代にも支援が必要で、働く世代が満足出来る環境と若い世代が住みたくなる街づくり、若者層へのサービスを充実してほしい。魅力ある部分を増やさないと人は減るとする意見もみられる。

3. 市民意向調查票

第2次稲敷市総合計画策定に係る市民意向調査

—調査ご協力のお祝い—

日ごろより、市政へのご理解・ご協力をいただきまして、ありがとうございます。

現在、稲敷市では『第2次稲敷市総合計画(後期基本計画)』の策定に向けた準備を進めています。本計画では、市を取り巻く社会潮流や人口減少など、まちづくりの課題を分析し、市民の皆さまと共有できる「将来のまちづくりの方向」を示していきたいと考えております。

そこで、皆さまのお考えを計画に反映するためのアンケート調査を実施することになりました。

この調査は市内にお住まいの18歳以上の方3,000人を無作為に抽出し、無記名で統計的な処理を行いますので、お答えいただく皆さまにご迷惑をおかけすることはありません。

未来の「いなしきづくり」に、是非ご協力くださいますようお願い申し上げます。

令和3年12月

稲敷市長 筧 信太郎

【ご回答に当たってのお願い】

本調査は①紙の調査票での回答(このアンケート用紙)か②インターネット(WEB)のいずれかで回答が可能です。

①紙でご回答いただける方

- ・お答えは、各選択肢の番号に○印をつけてください。
- ・ご回答いただきました調査票は同封の返信用封筒に封入し、切手を貼らずにそのまま郵便ポストへ投函くださいますようお願い致します。

②インターネット(WEB)でご回答いただける方

- ・下記のURL、または右のQRコードを読み取り、アクセスしてご回答ください。

URL : https://enquete.cc/q/ina_sougo

- ・紙との二重回答を防ぐため、このページの右上のID(4桁)を入力いただきます。
- ・WEBで回答いただいた方は紙の調査票の投函は不要です。(どちらかで回答ください。)
- ・万が一、紙とWEBの両方でご回答いただいた場合は、WEBのご回答を有効とします。

▼QRコード



この調査に関してご不明な点やご質問は、下記問い合わせ先までお願い致します。

【問い合わせ先】稲敷市 行政経営部 企画財政課 担当：根本・長井 電話：029-892-2000(代表)

調査票は 1月15日(土) までに、投函(またはご回答)くださいますようお願い致します。

3,000円分の景品をプレゼント!



調査にご協力いただいた方の中から

抽選で10名様に3,000円分のクオカード、またはAmazonギフト券をプレゼントします。

※抽選を希望される方は、抽選・発送のため、下記にご連絡先のご記入をお願い致します。(希望されない場合は、記入の必要はありません。)

ご希望の商品に○をつけてお選びください。		
クオカード		Amazonギフト券
氏名	ご住所 〒 -	電話番号 又は E-Mail アドレス

※紙の調査票でご回答、WEBでのご回答どちらも対象となります。期間中にご回答いただいた方の中から厳正な抽選の上、お送り致します。なお、当選者の発表は賞品の発送をもってかえさせていただきます。

※いただいた個人情報(氏名、ご住所、電話番号等)は一切公表致しません。賞品の抽選・発送のみに使用致します。

1. 稲敷市の住み心地などについて

問1. あなたは稲敷市を住みやすいと感じていますか。
下記の中から、該当する項目を1つ選び、番号に○印をつけてください。

- | | | |
|-------------|-------------|------------------|
| 1. とても住みやすい | 2. 住みやすい | 3. 普通（どちらともいえない） |
| 4. 住みにくい | 5. とても住みにくい | |

問2. あなたは稲敷市に今後も住み続けたいですか。
下記の中から、該当する項目を1つ選び、番号に○印をつけてください。

- | | | |
|-----------------|-------------|--------------|
| 1. 住み続けたい | 2. 当分住みたい | 3. どちらとも言えない |
| 4. できれば住み続けたくない | 5. 住み続けたくない | |

問3. 新型コロナウイルス等の感染症対策において、市の対策として最も重要だと思うことは何ですか。下記の中から、該当する項目を1つ選び、番号に○印をつけてください。

- | | |
|----------------------|--------------------------|
| 1. 正確な知識や適切な情報の迅速な提供 | 2. 地域や学校でのイベント等の見直し |
| 3. ワクチン接種や検査の実施体制の確保 | 4. デジタル技術を生かした新しい生活様式の形成 |
| 5. 民間事業者の感染対策の徹底 | 6. 中小企業や市民への経済支援 |
| 7. その他（ | ） |

問4. あなたは「^{エスディーゼーズ}SDGs（持続可能な開発目標）」について知っていますか。下記の中から、該当する項目を1つ選び、番号に○印をつけてください。

- | |
|-----------------------------------|
| 1. 17の目標をすべて知っており、内容を説明できる。 |
| 2. いくつかの目標を知っており、内容もある程度知っている。 |
| 3. SDGsという言葉は聞いたことがあるが、内容はよく知らない。 |
| 4. SDGsという言葉を知らなかった、聞いたことはなかった。 |

～SDGs（持続可能な開発目標）とは～

Sustainable Development Goals（サステナブル・デベロップメント・ゴールズ）を略した言葉で、2015年に国連サミットで加盟国の全会一致で採択された、2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標です。飢餓、貧困、環境問題、経済成長やジェンダー平等など、持続可能な社会を実現するための17の目標が掲げられています。



2. 稲敷市の取組について

問5. 稲敷市では総合計画に基づき、以下の取組を進めています。稲敷市の状況についてどのように感じていますか。「現在の満足度」について、それぞれ該当する項目を1つ選び、番号に○印をつけてください。

①子育て支援	現在の満足度	
<p>●市のすべての子ども達が、温かく見守られる地域ぐるみの子育てを支援しています。</p> <p>●子ども達の自主性・自立性を育むため、就学前教育と家庭教育を推進しています。</p> <p>●幼児教育を小学校教育にスムーズにつなぐ体制の整備を進めています。</p> <p>具体的な取組例</p> <ul style="list-style-type: none">・子育て支援センター、こども園や幼稚園でのサービス・3～4か月健診時の絵本プレゼント・小学校の新1年生へのお祝いや経済的支援 など	1	満足
	2	やや満足
	3	普通
	4	やや不満
	5	不満



②学校教育	現在の満足度	
<p>●次世代を担う子ども達の夢と希望を育み、自らの未来を拓いていく力、知・徳・体のバランスのとれた「生き抜く力」を醸成することのできる環境づくりを目指しています。</p> <p>●一人ひとりの教育的ニーズに対応した質の高い教育環境の整備を進めています。</p> <p>具体的な取組例</p> <ul style="list-style-type: none">・小・中学校施設整備・小・中学校連携および、小中一貫教育の検討・防災教育の推進・学校のICT（情報通信技術）環境の整備・放課後児童クラブ（放課後児童健全育成事業） など	1	満足
	2	やや満足
	3	普通
	4	やや不満
	5	不満



③生涯学習	現在の満足度	
<p>●誰もが、いつでも、自由に、学び・交流できる環境づくりを目指し、市民のライフステージなどに合わせた講座や教室の充実に努め、学習する機会を提供しています。</p> <p>●次世代を担う若者への地域・歴史文化の継承を支援しています。</p> <p>具体的な取組例</p> <ul style="list-style-type: none">・図書館サービスに関する事業・生涯学習のための各種講座・教室の支援・地域文化の継承、国際交流（カナダなど）に関する事業 など	1	満足
	2	やや満足
	3	普通
	4	やや不満
	5	不満



④スポーツ振興	現在の満足度	
<p>●市民のスポーツへの関心を高め、心身ともに健康で活力ある生活が形成されるよう、スポーツ環境の整備を進めています。</p> <p>●障がいの有無にかかわらず、誰もがスポーツを楽しめる環境づくりに取り組んでいます。</p> <p>具体的な取組例</p> <ul style="list-style-type: none">・スポーツ施設の整備・「市民スポーツフェスティバル」などの各種スポーツ大会の開催 など	1	満足
	2	やや満足
	3	普通
	4	やや不満
	5	不満



(記入用調査票)

⑤地域福祉・障がい者福祉	現在の満足度	
	1	満足
●市民が住み慣れた地域で暮らし続けることができるよう、多様化する社会ニーズに対応したサポート体制の充実に努めています。 ●高齢者の健康づくり、介護家族の負担軽減、障がい者福祉の充実など、施設整備とともに心のバリアフリーが広がる、人にやさしいまちづくりを推進しています。 具体的な取組例 ・地域介護予防活動への支援 ・認知症ケア、認知症初期集中支援チーム、認知症カフェの普及 ・社会福祉協議会の支援 など	2	やや満足
	3	普通
	4	やや不満
	5	不満



⑥保健・医療	現在の満足度	
	1	満足
●市民一人ひとりが生涯にわたって健康で豊かな生活を送れるよう、健康寿命をのばすことを目標とし、地域と密着した保健事業を推進しています。 ●市民自らが主体となって健康づくりに取り組めるよう支援の充実に努めています。 具体的な取組例 ・母子保健の充実、妊産婦支援、不妊治療・助成 ・疾病や生活習慣病の予防・早期発見のための各種健診や健康教室の実施 ・定期予防接種の着実な推進、感染対策用品等の備蓄 ・市内および近隣医療機関の医師の確保と医療体制の充実 など	2	やや満足
	3	普通
	4	やや不満
	5	不満



⑦安心・安全	現在の満足度	
	1	満足
●災害時の有効な体制の強化や災害に強い都市基盤づくりに取り組んでいます。 ●市民の防災意識の向上、消防・交通安全の充実、防犯や消費者生活対策の充実など、市民、地域、行政が連携して、安心・安全に暮らせるまちづくりに取り組んでいます。 具体的な取組例 ・防災協定の締結 ・災害時の情報提供体制の強化 ・市内小中学校への防犯カメラ設置 ・自主防災組織の育成 など	2	やや満足
	3	普通
	4	やや不満
	5	不満



⑧自然環境	現在の満足度	
	1	満足
●市の豊かな地域資源である水辺、樹林地、里山、農地における、多様な生物の生息や生育環境の保全と再生、創出を進めています。 ●不法投棄の防止や環境美化、公害対策を推進し快適な地域環境の保全に取り組んでいます。 具体的な取組例 ・水辺、樹林地、里山、農地の保全 ・不法投棄対策と環境美化の推進 ・環境保全、公害対策 など	2	やや満足
	3	普通
	4	やや不満
	5	不満



(記入用調査票)

⑨リサイクル・新エネルギー		現在の満足度	
<p>●将来にわたって持続可能な循環型社会を目指し、3R（リデュース、リユース、リサイクル）の推進によるごみの減量化、リサイクル活動を推進しています。</p> <p>●新エネルギー施策の推進により、環境に優しいまちづくりに取り組んでいます。</p> <p>具体的な取組例</p> <ul style="list-style-type: none"> ・太陽光発電等の自然エネルギーの導入促進 ・霞ヶ浦、河川の水質浄化対策 ・ごみ減量化・リサイクル活動の推進 など 		1	満足
		2	やや満足
		3	普通
		4	やや不満
		5	不満



⑩住環境		現在の満足度	
<p>●市街地の生活環境の向上および、昔ながらの集落地の維持・活性化に努めています。</p> <p>●移住定住の促進や若年層の流出防止の取組を行っています。</p> <p>●既存の公園・緑地の充実や適正な管理を図り、市民に親しまれる公園づくりを進めています。</p> <p>具体的な取組例</p> <ul style="list-style-type: none"> ・移住定住促進の情報発信 ・若年夫婦及び三世同居マイホーム取得支援 ・和田公園のにぎわいと活気の創出 など 		1	満足
		2	やや満足
		3	普通
		4	やや不満
		5	不満



⑪道路環境		現在の満足度	
<p>●利用者にとって円滑で快適な道路交通体系の形成を実現するため、幹線道路や生活道路の計画的な整備を進めています。</p> <p>具体的な取組例</p> <ul style="list-style-type: none"> ・幹線道路の整備（市道） ・生活道路の整備やバリアフリー化 ・橋梁の点検・維持補修の推進 ・「つくば霞ヶ浦りんりんロード（サイクリングロード）」を活用した環境整備 など 		1	満足
		2	やや満足
		3	普通
		4	やや不満
		5	不満



⑫公共交通		現在の満足度	
<p>●高齢者や学生等の交通弱者が日常生活を不自由なく暮らすことができるまちづくりを目指し、市民の様々な需要と目的に応じた持続可能な公共交通体系の形成に取り組んでいます。</p> <p>具体的な取組例</p> <ul style="list-style-type: none"> ・路線バスの再編、ワゴン車交通の導入 ・路線バスの利用促進、自動車が利用できない方へのタクシー利用補助 ・新たな高速バスの誘致活動 など 		1	満足
		2	やや満足
		3	普通
		4	やや不満
		5	不満



(記入用調査票)

⑬上下水道		現在の満足度	
<p>●上水道については、良質で安定的な水源の確保、持続可能な水道施設の整備・維持管理と経営基盤の確立を進めています。</p> <p>●下水道については、清潔で衛生的な生活環境の維持、生活排水の適正処理、施設の統廃合、下水道整備と維持管理を進めています。</p> <p>具体的な取組例</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公共下水道の計画的な改修 ・合併処理浄化槽の普及促進 ・安全で安定した水の供給 など 		1	満足
		2	やや満足
		3	普通
		4	やや不満
		5	不満



⑭農業振興		現在の満足度	
<p>●農業の担い手確保・育成や、農業のもつ持続可能性と潜在能力を発揮できる環境の整備を支援しています。</p> <p>●高付加価値化や6次産業化などの創造的な農業を展開し、元気で明るい農業を目指しています。</p> <p>具体的な取組例</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農地の集積・集約化、農地利用の効率化・高度化 ・新規就農者の認定、認定農業者への支援 ・地球環境にやさしい農業に関する取組の推進 ・ロボットや新たな技術を活用した次世代型農業の推進 など 		1	満足
		2	やや満足
		3	普通
		4	やや不満
		5	不満



⑮商業・工業・観光		現在の満足度	
<p>●中小企業の安定的経営や担い手育成、起業などの新たな商業への展開を支援しています。</p> <p>●圏央道を生かした企業誘致、周辺市町村と連携した魅力ある観光イベントの充実などを通して、地域の振興、交流人口（地域を訪れる人）の拡大、賑わいの創出に努めています。</p> <p>具体的な取組例</p> <ul style="list-style-type: none"> ・工業団地の整備による市内雇用機会の創出 ・中小企業の安定的経営や商業の担い手育成 ・観光まちづくりの推進 など 		1	満足
		2	やや満足
		3	普通
		4	やや不満
		5	不満



⑯市民協働・コミュニティ		現在の満足度	
<p>●まちづくりへの関心を高め、市民と行政が同じ目線で情報を共有し、共に行動しながら、手を取りあって、暮らしやすいまちづくりに取り組んでいます。</p> <p>具体的な取組例</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民のまちづくりへの関心を深め、担い手を育成 ・市民、地域、事業者等の活力を生かした市民協働によるまちづくりの推進 ・行政、民生委員、地域住民が災害時に連携できる体制の構築 ・公民館を活用した地区拠点づくり など 		1	満足
		2	やや満足
		3	普通
		4	やや不満
		5	不満



(記入用調査票)

⑰人権・男女共同参画	現在の満足度	
<p>●だれもが対等な立場で社会のあらゆる分野における活動に参画する機会を確保し、政治的、経済的、社会的及び文化的利益を享受することができる社会の構築に取り組んでいます。</p> <p>具体的な取組例</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人権尊重の教育と啓発 ・人権相談等の充実 ・男女共同参画社会の形成 など 	1	満足
	2	やや満足
	3	普通
	4	やや不満
	5	不満



⑱効率的な行政運営	現在の満足度	
<p>●社会経済情勢の影響や人口減少による歳入の減少といった厳しい状況が予想される中、安定的・効率的な市民サービスの向上に努めています。</p> <p>●公共施設の適正な施設規模、長寿命化の検討、職員の人事管理などに取り組んでいます。</p> <p>具体的な取組例</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ICT（情報通信技術）による業務の効率化、市民サービスの向上 ・ふるさと応援寄附金、広告収入、企業誘致などによる安定した財源の確保 など 	1	満足
	2	やや満足
	3	普通
	4	やや不満
	5	不満



⑲情報発信	現在の満足度	
<p>●広報紙やホームページなどの多様な媒体により、行政情報の提供を進めています。</p> <p>●様々な広聴手段を用いて市民の声を市政運営へ反映するように努めています。</p> <p>●市の魅力を市内外に発信していくため、シティプロモーションを推進しています。</p> <p>具体的な取組例</p> <ul style="list-style-type: none"> ・広報紙、ホームページ、SNS（ツイッターやFacebook）等による情報発信 ・稲敷の魅力を戦略的に発信し、市の認知度や愛着心を高める取組 など 	1	満足
	2	やや満足
	3	普通
	4	やや不満
	5	不満



問6. 満足度でお伺いした①から⑲の取組の重要度について伺います。あなたが、今後5年程度の間、稲敷市にとって、特に重要だと思う取組の項目を3つ選び、番号に○印をつけてください。

① 子育て支援	② 学校教育	③ 生涯学習
④ スポーツ振興	⑤ 地域福祉・障がい者福祉	⑥ 保健・医療
⑦ 安心・安全	⑧ 自然環境	⑨ リサイクル・新エネルギー
⑩ 住環境	⑪ 道路環境	⑫ 公共交通
⑬ 上下水道	⑭ 農業振興	⑮ 商業・工業・観光
⑯ 市民協働・コミュニティ	⑰ 人権・男女共同参画	⑱ 効率的な行政運営
⑲ 情報発信		

3. 回答者ご自身のことについて ※ご回答を統計的に集計・分析するためにお伺いします

次の各設問について、下記の中から、該当する項目を1つ選び、番号に○印をつけてください。

問7. あなたの性別は、次のうちどれにあてはまりますか。

1. 男性	2. 女性	3. その他
-------	-------	--------

問8. あなたの年齢は、次のうちどれにあてはまりますか。

1. 18～20歳代	2. 30歳代	3. 40歳代
4. 50歳代	5. 60歳代	6. 70歳以上

問9. あなたの職業は、次のうちどれにあてはまりますか。(※兼業の方は主な職業のみを選んでください)

1. 農林漁業(家族従事者を含む)	2. 会社員(すべての業種の勤め人)
3. 自営業(製造・建設業)	4. 自営業(商業・サービス業)
5. 公務員・教職員(公社・公団職員も含む)	6. 主婦(主夫)
7. 学生	8. 無職(高齢者含む)
9. パート・アルバイト	10. その他 [具体的]

問10. あなたの住んでいる地区は、次のうちどの地区ですか。

1. 江戸崎地区	2. 新利根地区	3. 桜川地区	4. 東地区
----------	----------	---------	--------

問11. あなたは稲敷市に、どれくらいの期間住んでいますか。

1. 5年未満	2. 5年以上～10年未満
3. 10年以上～20年未満	4. 20年以上
5. 生まれた時から(Uターンしてきた方も含む)	

問12. その他、稲敷市の暮らしについてのご意見などご自由にお書きください。

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

◇ご協力ありがとうございました。

ご記入いただいた調査票は、**1月15日(土)**までに同封の返信用の封筒に入れ、ポストに投函(切手不要)をお願いします。(インターネット回答の場合は同日までにご回答をお願いします。)

市民意識調査結果報告書

発行 令和4年3月 稲敷市
